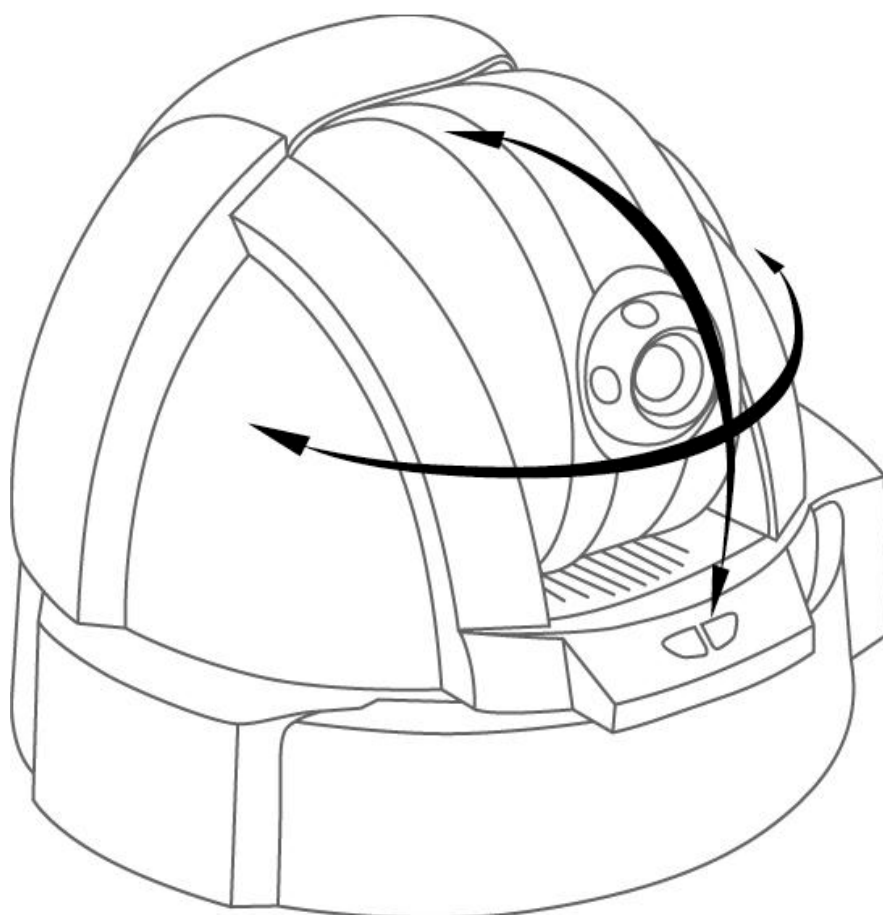


New Intelligent Robotic Camera

SECUMERAPRO

User Manual (日本語)



1. Introduction

- 1-1. 序章 1
- 1-2. カメラ外観 2

2. Secumera Pro Server

- 2-1. インストール 3
- 2-2. アンインストール 5
- 2-3. 構成 6
- 2-4. 系統図 8
- 2-5. 環境設定 9
- 2-6. スタート 17
- 2-7. 動作確認 18
- 2-8. モーション 23
- 2-9. ファンクションボタン &
ステータスバー 24
- 2-10. ズーム 27

3. Secumera Pro Client

- 3-1. インストール 28
- 3-2. アンインストール 30
- 3-3. 構成 31
- 3-4. 系統図 34
- 3-5. 機能 35
- 3-6. ファイル再生 41

4. Secumera Video Player

- 4-1. 構成 42
- 4-2. 機能 44
- 4-3. Detection List 49
- 4-4. Recording List 50
- 4-5. Sensing List 50

5. PTController Server

- 5-1. 概要 51
- 5-2. インストール 52
- 5-3. アンインストール 54
- 5-4. 構成 55
- 5-5. 環境設定 57
- 5-6. カメラ選択 60
- 5-7. ポジション/スピード用
コントロールパネル 60
- 5-8. プリセット 61
- 5-9. 巡回パターン 64
- 5-10. 監視モード ON/OFF 65
- 5-11. 拡大/縮小/終了 67

6. PTController Client

- 6-1. インストール 68
- 6-2. アンインストール 70
- 6-3. 構成 71
- 6-4. サーバーに接続する 73

本書は、個人・団体による本製品の使用目的のためにのみ提供されるものです。

本文中に示されるハードウェア・ソフトウェアを含む本マニュアルのいかなる部分も、TechnoVision Inc.及びサンワサプライ(株)の文書による明示的な許諾なく転用、引用、複製、放送などを行うことは出来ません。ただし、お客様の著作権法上の権利を制限するものではありません。

本書の記述などによって生じるいかなる、直・間接的な損害に対して、TechnoVision Inc.及びサンワサプライは、責任を負いません。また、本書の記述の間違い・不正確に対応する責任もおいません。

Document Code : JP0303A01-R141+

1. Secumera Pro Introduction

1-1. 序章

Secumera Proは使用法に応じて、次のように用途にあったソフトウェアを使用します。

- **Secumera Pro Installer**

付属のCDを入れる事により自動実行された使用目的に合ったソフトウェアをインストールします。



- **Secumera Pro Server (USB/NTSC 共用)**

: Secumera Pro カメラが接続されているコンピュータにインストールするソフトウェアです。インターネットを通じて、遠隔地のコンピュータからのモニタ、コントロールなどが出来るようにサービスを提供するサーバープログラムです。

- **Secumera Pro Client (USB/NTSC 共用)**

: インターネットを通じて、遠隔地にあるカメラが接続されているサーバーコンピュータに接続してモニタ・コントロールなどを行うプログラムです。

- **Secumera Video Player**

: Secumera Pro Serverで録画された映像を再生します。遠隔地にあるクライアントコンピュータでの再生もできます。

- **PTController Server/Client (USB/NTSC 共用)**

: カメラの動作御製用プログラムです。画面表示機能はありません。

キャプチャボードを使用する場合などにおいて、カメラ動作をコントロールするためのプログラムです。もちろん遠隔地にあるクライアントコンピュータからの制御も可能です。

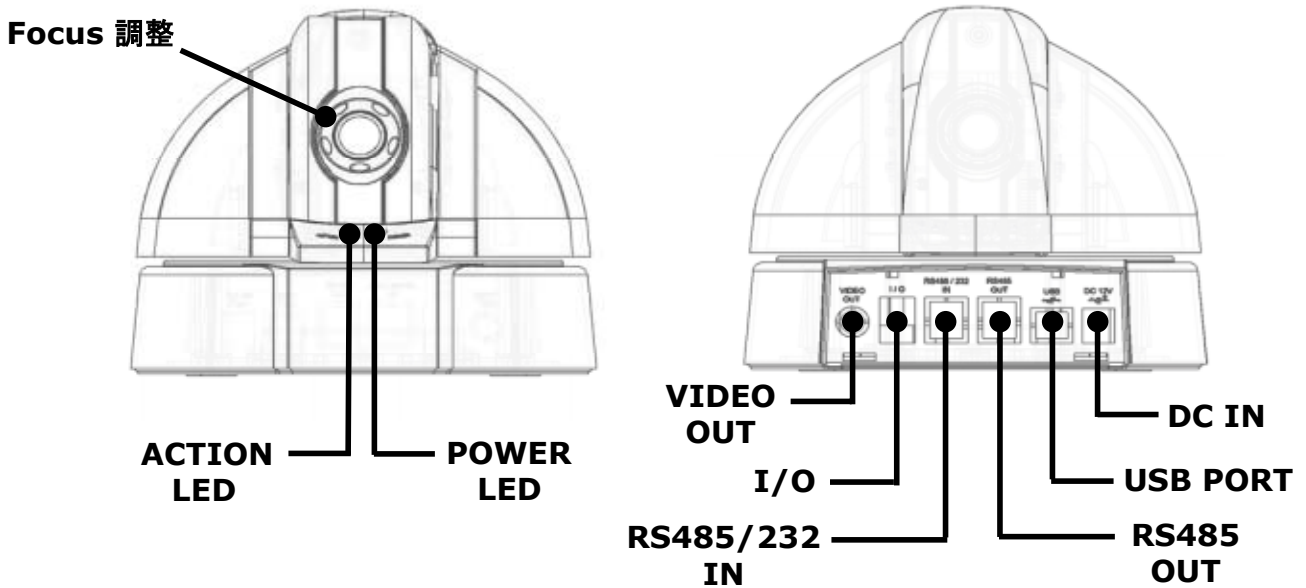
- **Driver Install**

: カメラ制御用のドライバーソフトウェアのインストール方法に関する説明です。

- **Manual**

: 電子マニュアル (Acrobat Readerが必要です)

1-2. カメラ外観



項目	説明
Focus 調整	焦点調整に使用します。(USB Type)
POWER LED	電源ON時、赤LEDが点灯します。
ACTION LED	パトロールモード時、緑LEDが点灯します。
VIDEO OUT	ビデオ出力端子です。(NTSC/PAL Type)
I/O	Alarm Input/Output モジュールと接続するためのコネクタです。(Option)
RS484/232IN	NTSCカメラをコントロールするための端子です。コンピュータのシリアルポートに付属ケーブルで接続します。
RS485 OUT	2台以上のカメラを設置する場合、他のカメラのRS485 IN ポートと接続します。(NTSC/PAL Type)
USB PORT	UBS接続端子です。(USB Type)
DC IN	電源コネクタ。付属のACアダプタを接続します。

2. Secumera Pro Server

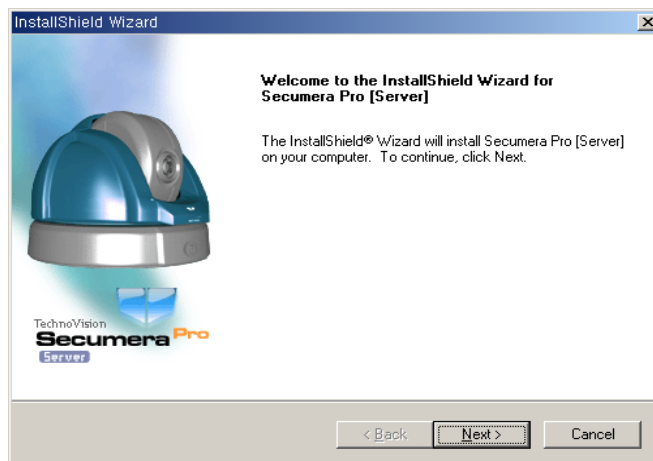
2-1. インストール - Secumera Pro Server

注意事項

カメラをUSB ポートに接続する前に必ずドライバを先にインストールしてください。
ドライバインストール方法は、別紙ドライバインストールを参照してください。

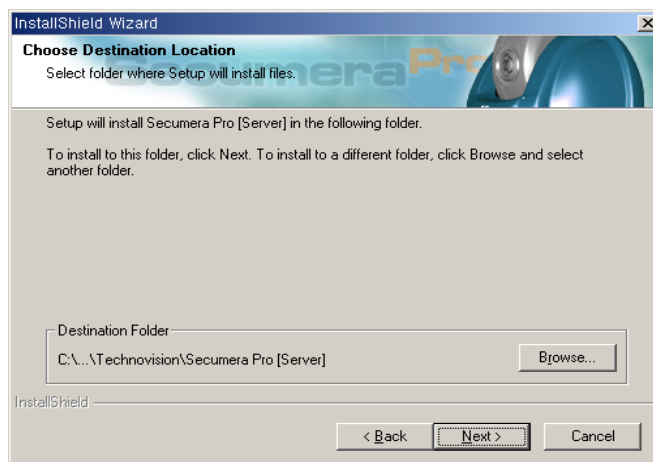
1 ‘Secumera Pro[Server]’ をクリックすると、サーバー用プログラムのインストールが始まります。

[Next] ボタンをクリックして先に進んでください。



2 プログラムのインストール先を指定します。通常はデフォルトのままにしてください。

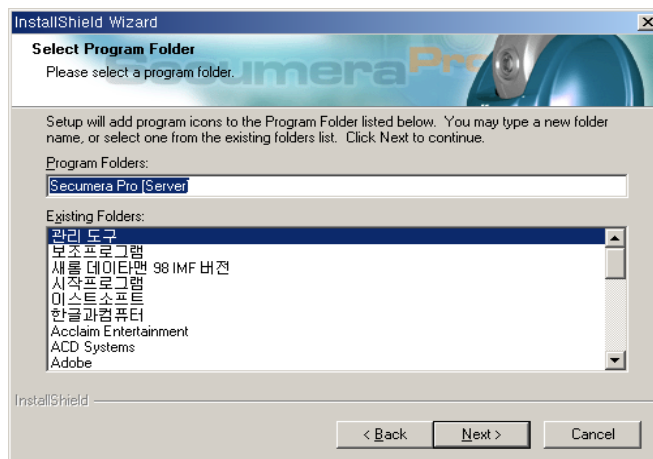
インストール先を指定する場合は、[Browse] ボタンをクリックして、指定してください。



3 プログラムフォルダの名前を指定します。

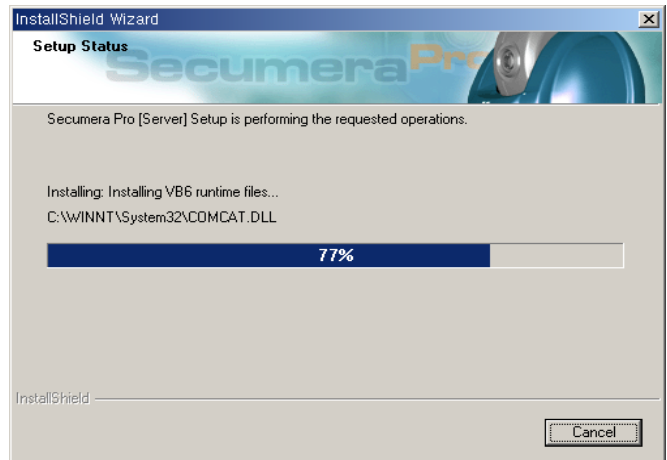
通常はデフォルトのままにしてください。

[Next] ボタンをクリックして先に進みます。



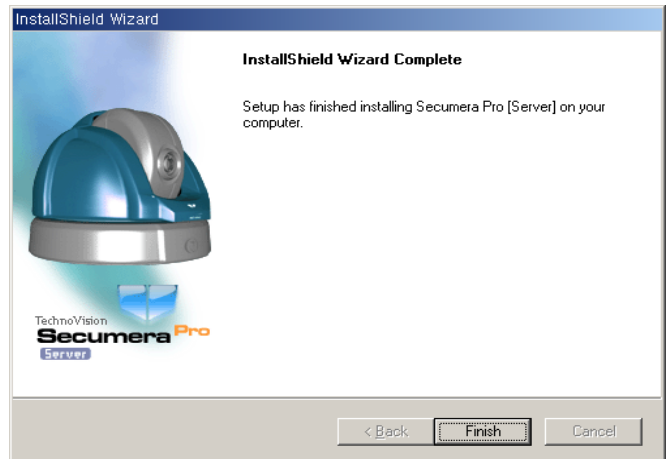
4

インストールを中断する場合は、
 [Cancel] ボタンをクリックします。



5

[Finish] ボタンをクリックしてイ
 ンストールは終了です。



インストールが正常に終了すると[スタート]メニューにプログラムが追加されます。
 また、デスクトップ画面には下記のようなアイコンが作成されます。



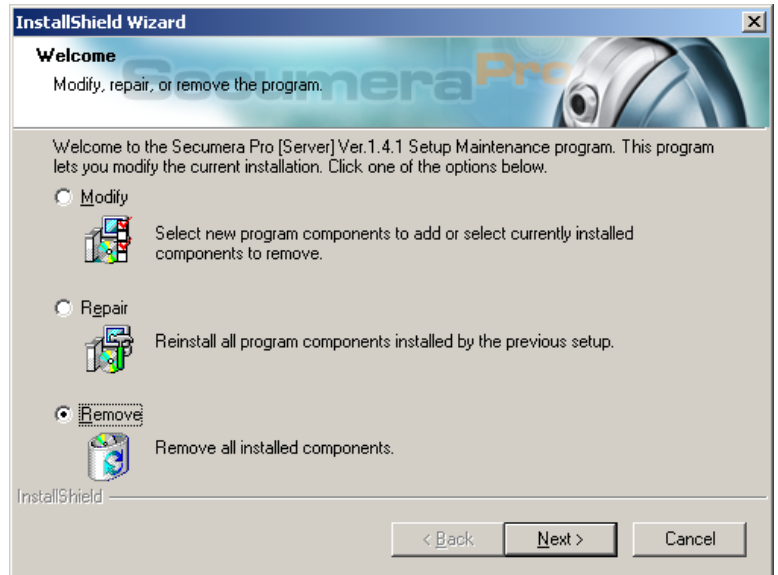
2-2. アンインストール- Secumera Pro Server

1 アンインストール(プログラムの削除)の方法について説明します。

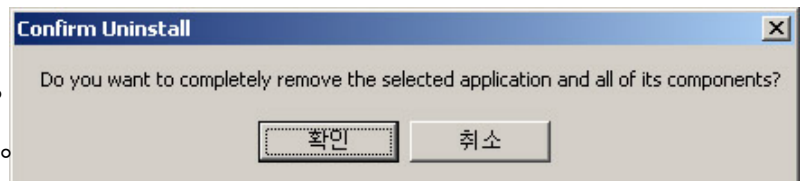
[スタート]メニュー→[プログラム]→[TechnoVision]中‘Uninstall Secumera...’ をクリックします。

次に右図のような画面が表示されます。

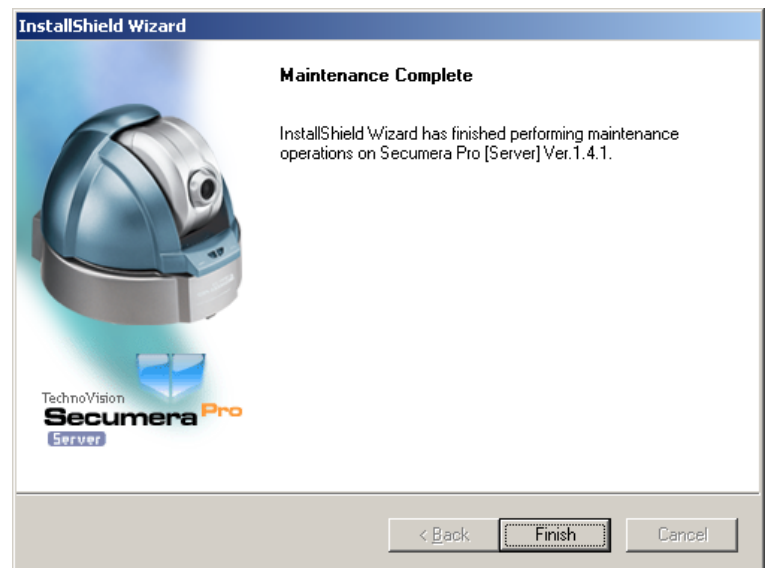
[Remove]を選択し[Next]ボタンをクリックします。



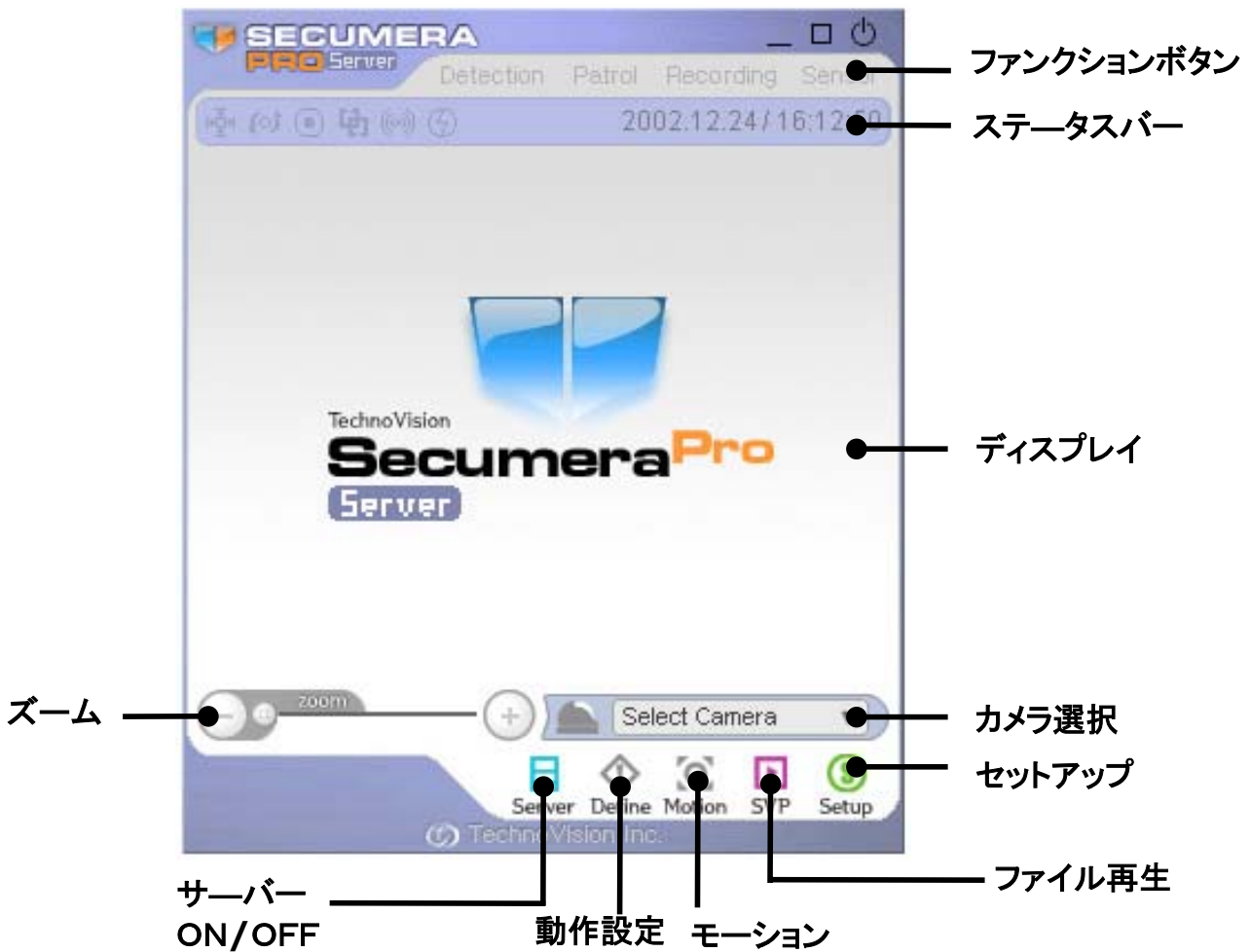
2 アンインストール作業を進めることへの確認メッセージが表示されます。よろしければ、[OK]をクリックします。



3 [Finish]ボタンをクリックして作業は終了です。プログラムは削除されました。



2-3. 構成

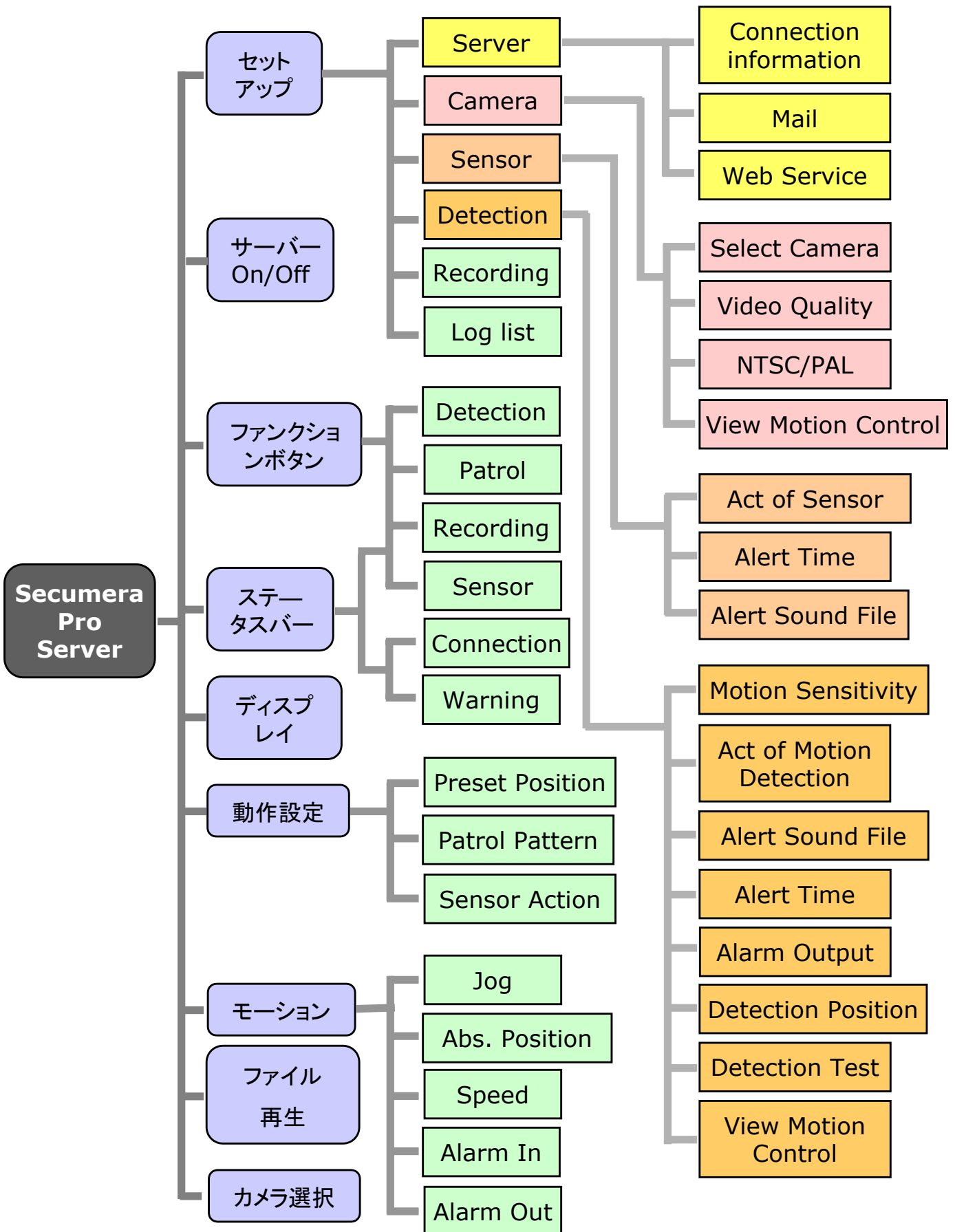


[ボタン 説明]

サーバー On/OFF	Server機能をON/OFFします。ON時にはカメラ映像がDisplayに表示され、クライアントの接続を受け付ける準備が整います。
動作設定	動作設定が表示されます。動作設定では定点と巡回パターン、Alarm Inputを設定できます。
モーション	モーションウィンドウが表示されます。モーションではカメラのPan/Tilt動作制御とAlarm Outputを設定できます。
ファイル再生	Video Playerにより、録画された動画を再生します。
セットアップ	カメラを制御するための各種設定を行います。
ズーム	-、+ ボタンをクリックしてイメージを拡大・縮小できます。 (Digital Zoom x5)

<p>カメラ選択</p>	<p>コンピューターに複数のカメラが接続されている場合、制御（モニタ）するカメラを選択します。</p>	
<p>ファンクションボタン</p>	<p>Detection、Patrol、Record、Sensor 機能をON/OFFします。</p>	
	<p>Detection Mode</p>	<p>画面の動きを感知して警告音、録画、Alarm Output、メールなどでユーザーに連絡します。</p>
	<p>Patrol Mode</p>	<p>ユーザーが設定した場所を巡回パトロールします。</p>
	<p>Recording Mode</p>	<p>映像を録画します。</p>
<p>Sensor Mode</p>	<p>Alarm Inputと連動してユーザーが指定した動作を行います。</p>	
<p>ステータスバー</p>	<div data-bbox="470 996 1177 1272" data-label="Diagram"> </div> <p>現在の状態を表示します。</p> <p>各モードのON/OFF状態を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Detection Mode — [Setup]の‘Detection’タブで設定された内容で動きを監視するモードです。 ・ Patrol Mode — [Define]で設定された巡回パターンに基づいてカメラの動作（Pan/Tilt)するモードです。 ・ Recording Mode— 映像を録画している間、点灯します。 ・ Connection — Client プログラムでServerに接続した時アイコンが点灯します。この時マウスカーソルをConnectionがツールチップ上に表示されます。 ・ Warning — Detection Mode動作中に、動きが検出されますとアイコンが点灯します。 ・ Sensor Mode — カメラに接続されたAlarm I/O Module (TV-PTC-AIO, Option)のInput 端子に接続されるとカメラに伝達されSensorアイコンが点灯します。 	

2-4. 系統図

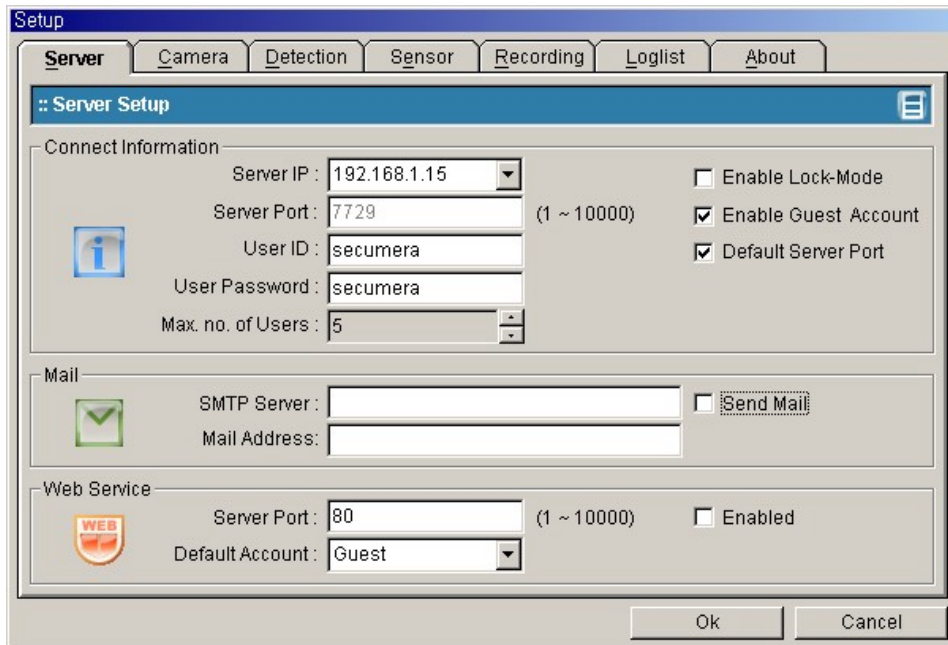


2-5. 環境設定

[Setup] メニューでさまざまなオプションを設定できます。

2-5-1. Server

Secumera Pro Serverの接続情報を確認することができます。



1) Connect Information

- ① [Server IP] 現在サーバープログラムが実行中のコンピューターの IP Addressが表示されます。
複数のネットワークが利用可能な場合（ネットワークカードが複数合）、使用するIPアドレスを選択できます。
- ② [User ID / Password] Secumera Pro Client プログラムでServerに接続する際に必要なIDとPasswordを設定します。
- ③ [Max. no. of Users] サーバーに同時に接続できるユーザー数を設定します。最大で10人まで設定することができます。
- ④ [Enable Lock-Mode] Server プログラムを最小化させた後、通常に戻す場合にIDとパスワードの入力を求めるかどうかの設定を行います。
パスワードはUser Passwordと同一です。
- ⑤ [Enable Guest Account] クライアントで 'Guest' 権限でサーバーに接続できるようかどうかを設定します。
'Guest' 権限とはカメラの制御はできませんが、映像のモニタリングは可能です。
- ⑥ [Default Server Port] ポートフォワーディングを行わない場合はチェックします。通常はデフォルトのサーバーポートを使用してください。

2) Mail

この設定を行うことにより、Motion検出時やセンサー入力があった場合な指定されたアドレスにメールを送ることが出来るようになります。

- ① [SMTP Server]プロバイダから提出されているSMTP サーバーのアドレスを指定します。
- ② [Mail Address]イベント発生時に送付するメールアドレスを指定します。
- ③ [Send Mail]チェックボックスにチェックしてある場合、サーバーがONなるたびに、その旨をメールで送信します。

3) Web Service

Web Serviceでは、クライアント側にクライアントソフトウェアがインストールされていない場合、ブラウザソフトを通じてクライアントソフトウェアをサーバーからダウンロードできるようにするサービスを提供します。ブラウザのアドレス欄にカメラが接続されているサーバーのアドレスを入力することにより、下図のような画面が表示され、ダウンロードできるようになります。

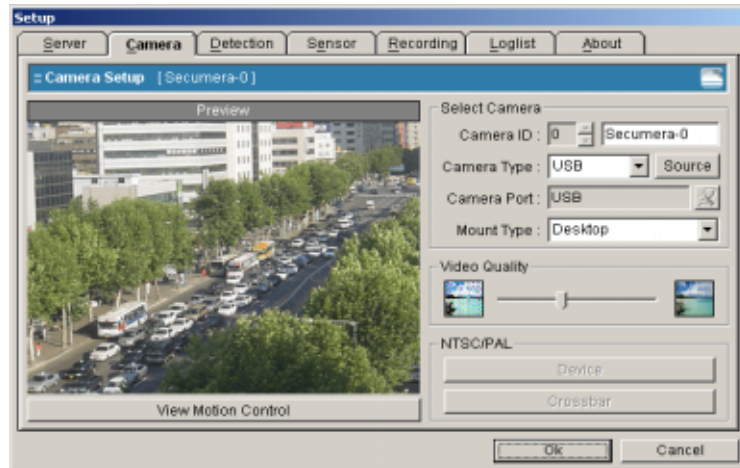
①[Server Port] は基本的に80番を使用します。（デフォルトも80番です）任意のポート番号(例えば, 1010番)を使用するためにはウェブブラウザのアドレス入力欄に ‘http://000.000.000.000:1010’ と入力することにより Secumera Pro Client プログラムをダウンロードできる画面が表示されます。デフォルトの設定の場合は、ポート番号の設定は省略できます。（ウェブブラウザは、標準で80番ポートにアクセスします）



- ② [Enable]をチェックしてServerを[ON]させるとWeb Serviceを使用できるようになります。
- ③ 表示されたウェブページの ‘Execute’ ボタンをクリックすることによりクライアントソフトウェアが自動ダウンロードされます。この時、アクセスしたサーバーに接続されているカメラが自動的にクライアントソフトに登録され、簡単にカメラ画像を見ることが出来ます。
- ④[Default Account]はウェブサービスを利用するユーザーのアカウントを設定します。デフォルトは ‘Guest’ です。

2-5-2. Camera

サーバーコンピュータに接続されているカメラの設定を行います。



1) Select Camera

複数のカメラが接続されている場合、各カメラに対する情報を設定します。

- ① [Camera ID]にて該当のカメラを選択し、任意にカメラの名前を決めることができます。カメラの名前はSecumera Pro Clientプログラム側でも同様に確認することができます。
- ② [Camera Type]にてUSBまたはNTSC、どちらのタイプかを選択します。カメラの詳細な特性を変更するためには[Source] ボタンをクリックします。
- ③ [Camera Port] は現在カメラがPCのどのポートに接続されているかを表示します。[Find] ボタンをクリックすると自動で検索し、接続されているカメラが見つからない場合は[None]と表示されます。
- ④ [Mount Type] はカメラを設置する向き（上下方向）を指定します。天井などに設置する場合は‘Wall/Ceiling’、机上などに置く場合は‘Desktop’です。

2) Video Quality

クライアントのモニタに表示される映像の解像度を設定します。 Qualityを高めれば画質が良くなる一方映像の転送速度は遅くなり、またQualityを低くすれば画質が落ちる一方送信速度は速くなります。

3) NTSC

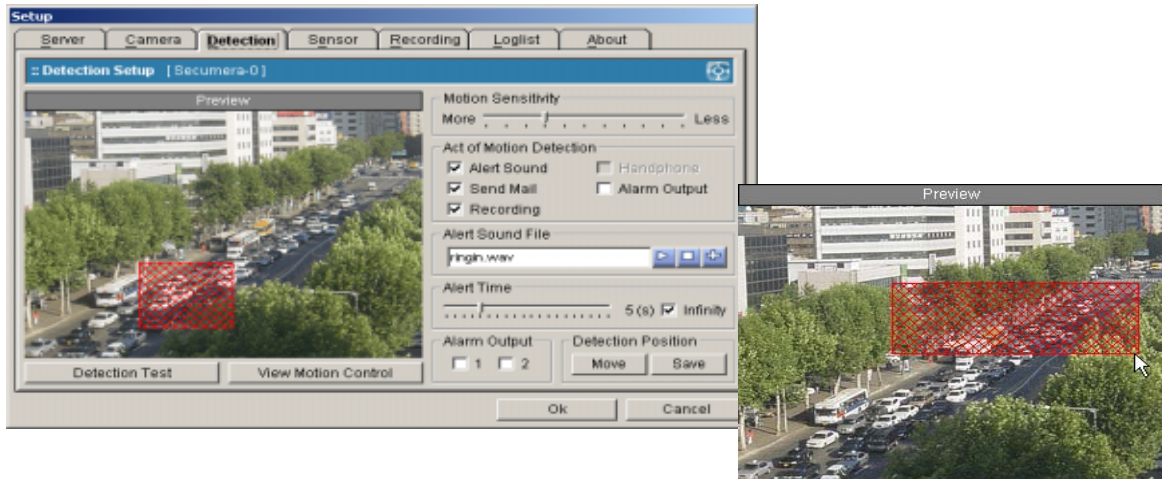
NTSC タイプのカメラを接続した場合、[Device]をクリックしてイメージキャプチャー装置を選択する必要があります。 [Crossbar]はキャプチャー装置の入力機能の中で外部ビデオ入力(2-Video Composite IN)を選択することで映像をモニタすることができます。

4) View Motion Control

カメラを上下左右に回転・移動の制御を行うパネルが表示されます。

2-5-3. Detection

Detection Area(動き検出領域)を設定して、その領域内で動きが検出された時にユーザーに通知するなどの機能です。



[Preview] 画面中の赤斜線部の領域が設定された領域です。

画面中でマウスをドラッグすることにより、新しい領域が設定されます。

1) Motion Sensitivity

動きを検出する感度を設定します。感度を高めるほど微細な動きにも反応するようになります。

2) Act of Motion Detection

動きが検出された時のアクションを指定します。

Alert Sound

動き検出時ユーザーがAlert Sound Fileで指定した音声ファイルを再生します。 デフォルトは 'Siren.wav' ファイルです。

Send Mail

動き検出時、Serverタブで指定したメールアドレスにメールを送信します。

Recording

動き検出時、Alert Timeにて録画時間を設定します。

Alarm Output



動き検出時、Alarm Out 端子をONにします。(オプション)
例えばAlarm Out 端子にライトが接続されている場合、動きを検出することによりライトが点灯します。

Handphone

将来的に用意してありますが、現在は使用できません。

3) Alert Sound File

動き検出時に再生する音声ファイルをユーザーが任意で設定できます。

 ボタンをクリックして音声ファイル(*. wav)を選択し、 ボタンで再生することができます。

4) Alert Time

動き検出時に、アラーム再生時間や録画時間を1秒から最大20秒まで設定できます。[Infinity]をチェックした場合、ユーザーが[Detection] ボタンをクリックして解除するまで、その動作が維持されます。


5) Alarm Output

動き検出時、Alarm Outputのチェックされた端子にON信号を送信します。

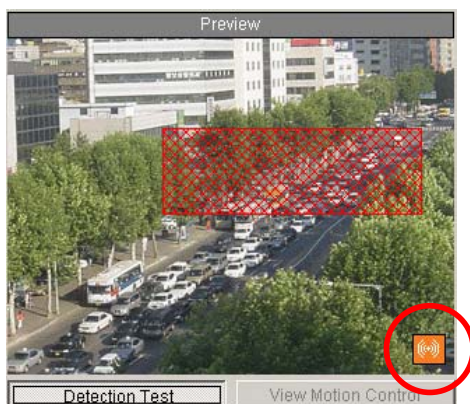
6) Detection Position

[Move] をクリックすることにより、以前に保存してあるDetection Positionに移動します。[Save]をクリックしますと現在設定されているエリアを保存することができます。

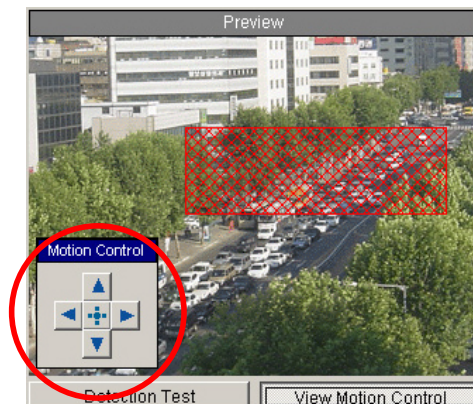
7) Detection Test

動き検出のテストモードです。検出された場合下図のようにPreview画面右下に  マークが現われます。このモードで適当なMotion Sensitivityを設定して下さい。

8) **View Motion Control**カメラを上下左右に制御するコントロールパネルが表示されます。



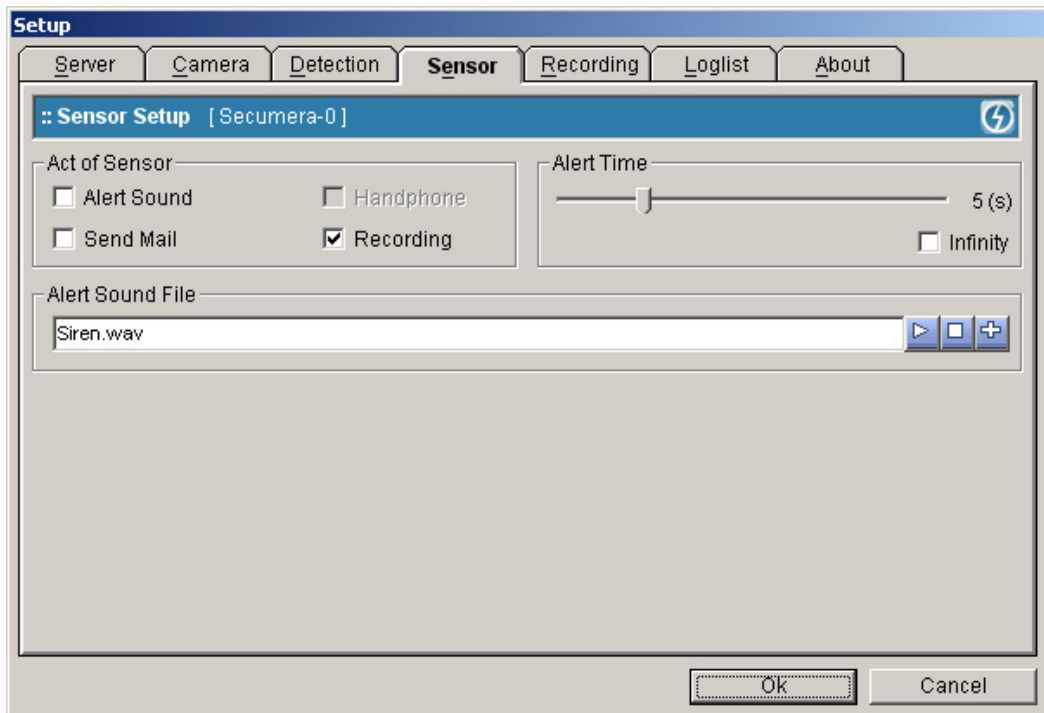
<Detection Test>



<View Motion Control>

2-5-4. Sensor

[Camera] タブで選択したカメラのSensorオプションを設定します。



1) Act of Sensor

Alarm I/O Module (Option) のAlarm Inを通じてセンサー信号が入力された時、Secumera Pro Server プログラムが行う動作を設定します。

- Alert Sound : Alert Sound Fileで設定した音声ファイルを再生します。
- Send Mail : [Server] タブで指定したメールアドレスにメールを送信します。
- Recording : 'Recording' タブで指定したフォルダに録画ファイルを保存します。
- Handphone: 将来的に用意してありますが、現在は使用できません。



2) Alert Time

Sensor In 信号が入力された時に行う動作時間を設定します。
[Infinity]をチェックした場合、ユーザーが解除するまでその動作が維持されます。解除するには[Sensor]ボタンをクリックします。

<参照>

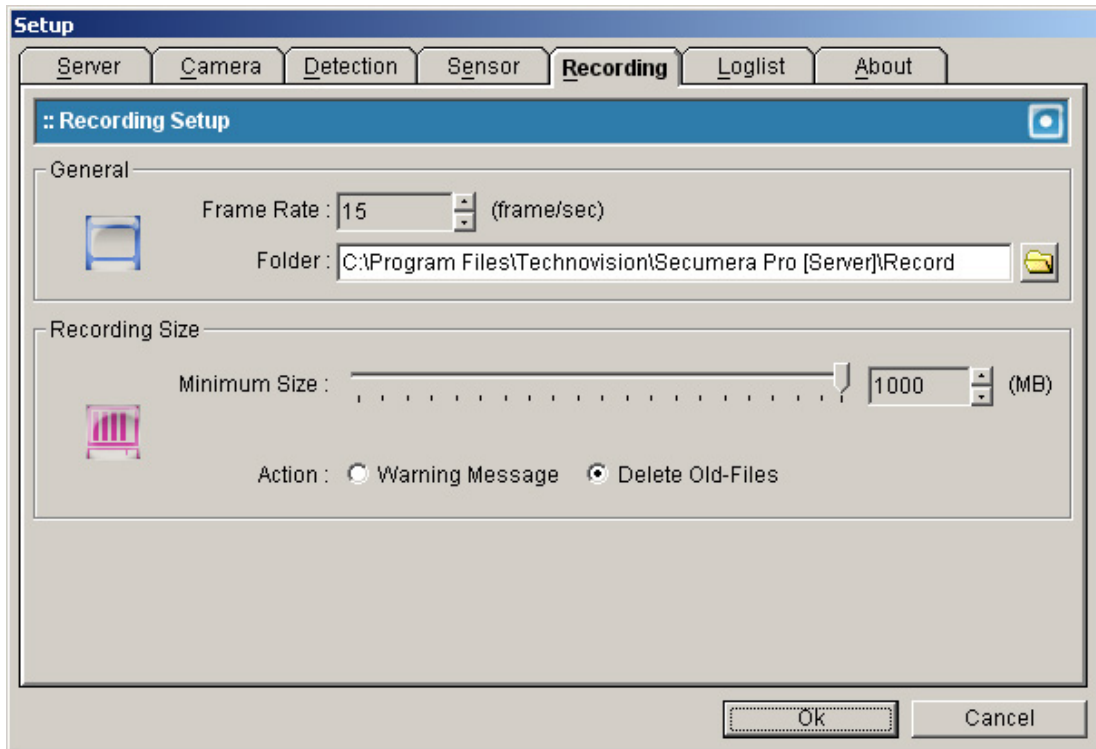
Detection Patrol Recording **Sensor**

3) Alert Sound File


警告音を設定します。  ボタンをクリックすることにより他の警告音 (*.wav) ファイルを指定することが出来ます。 また、  ボタンをクリックすることにより再生することができます。

2-5-5. Recording

録画に関するオプションを設定します。



1) General

- ① [Frame Rate] は1秒あたりに録画するフレーム数を指定します。設定できるフレーム数は1から最大15までです。デフォルトは15 Frame/Secです。
- ② [Folder] は録画したときのファイルを保存するフォルダを指定します。  アイコンをクリックしてユーザーが任意にフォルダを指定することができます。

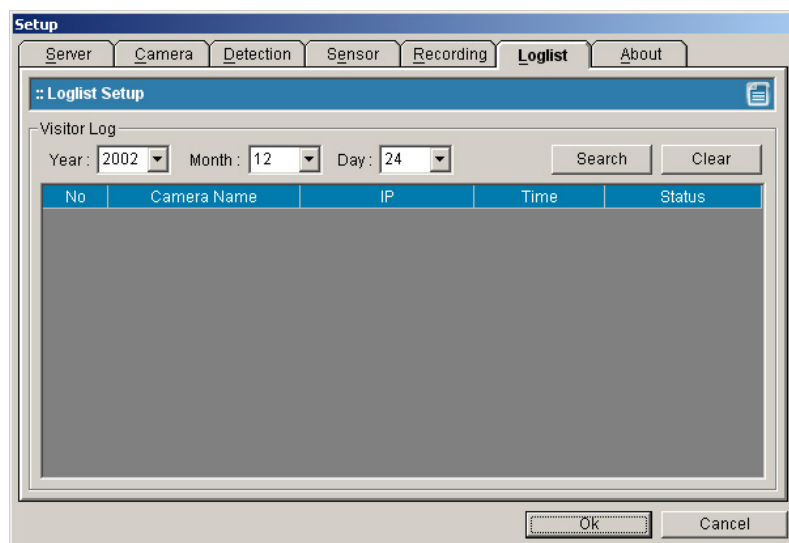
2) Recording Size

- ① [Minimum Size] は録画途用に保存エリアを確保します。デフォルト値は30MBです。ハードディスクなどの空き容量が30MB以下になるまで録画が可能です。
- ② [Action] ではハードディスクの容量が指定されたサイズより少なくなった場合の処理方法を指定します。

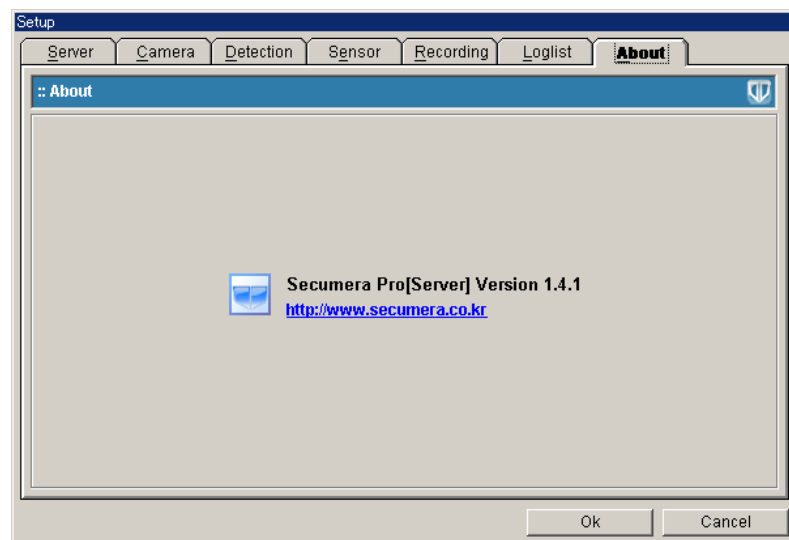
[Warning Message] を選択した場合、警告メッセージを表示します、[Delete Old-Files]を選択した場合は、一番古いファイルを削除した後、自動的に録画を継続します。

2-5-6. Log List

選択した日付のSecumera Pro Serverの動作記録を見ることが出来ます。
 また、クライアントからの接続履歴も見ることが出来ます。
 日付を選択して[Search] ボタンをクリックすることによりリスクが作成
 されます。
 [Clear] ボタンをクリックしますと、過去の記録が削除されますので使用
 にはご注意ください。



2-5-7.About



Secumera Pro Serverのバージョン情報を表示します。

2-6. スタート

2-6-1. Server On

すべての設定が終わったら[Server] ボタンをクリックしてServerを起動させます。
 これによりカメラの画像が表示されます。



2-6-2. Select Camera

一台のコンピューターに複数のカメラが接続されている場合、[Camera List] によってカメラを切り替えることができます。それに応じて表示されている映像も切り替わります。



2-7. 動作設定

[Define] ボタンをクリックすると次のように動作設定ウィンドウが表示されます。

[Preset Position]は、任意のモニタ位置情報とAlarm OutputのON/OFFを設定して保存することができます。最大10箇所まで設定できます。

[Patrol Pattern]はあらかじめ設定された10箇所までの定点から、希望のポジションを移動する順番に指定します。



[Define] ウィンドウの右側上端の □ ボタンを押せば下図のように各Preset Positionに関する詳細な設定(Speed、Pan/Tilt Position、Zoom Scaleなど)を確認・編集することができます。

Preset Position							
No	Description	Time	Pan	Tilt	Speed	Output	Zoom
1	My Pos 1	1	71	38	7	ox	1
2	My Pos 2	1	160	207	9	oo	1
3	My Pos 3	1	149	91	9	ox	1
4	My Pos 4	1	50	216	10	ox	2
5							
6							
7							
8							
9							
10							

Patrol Pattern							
No	Description	Time	Pan	Tilt	Speed	Output	Zoom
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

Sensor Action		
Sensor 1	Sensor 2	Sensor 1+2
None	None	None

もう一度右側上端の □ ボタンを押すと最初の状態に戻ります

2-7-1. 定点

[Preset Position] では、ユーザーが設定した位置を一覧で確認することができます。

1) 定点を追加する

- ①任意のモニタ位置にカメラを移動させます。
- ②SpeedとAlarm OutのOn/Offを設定します。
- ③マウス右側ボタンをクリックして[Edit]メニューをクリックします。
- ④ [Preset Position Name]を入力し[Dwell Time]を選択した後[OK]ボタンをクリックします。

2) Dwell Time

[Patrol Mode]時、その場所にと留まる時間を設定します。1秒から10秒まで設定できます。

[定点 List]では、設定値の一覧を確認することができます。

Preset Position							
No	Description	Time	Pan	Tilt	Speed	Output	Zoom
1	My Pos 1	1	71	38	7	xx	1
2	My Pos 2	1	160	207	9	oo	1
3	My Pos 3	1	149	91	9	ox	1
4	My Pos 4	1	50	216	10	ox	2
5							
6							
7							
8							
9							
10							

Preset Position Add	
Preset Position Index:	5
Preset Position Name:	My Pos
Dwell Time:	<input type="range"/>
Ok Cncl	

3) Preset Position を削除する。

リストで定点を削除する場合は[Delete]、リスト全体を削除する場合は[Delete All]をクリックします。

[定点 List]にあるモニタ位置にカメラを移動させる時は、[Move]メニューをクリックします。

リストの該当の番号をダブルクリックしても移動できます。

4) 定点を修正する

- ① カメラのモニタ位置を修正しようとする場合、まず修正しようとするモニタ位置までカメラを移動させます。(カメラの移動はMotionウィンドウのLOGボタン、Abs.Position、又はモニタスクリーン上を利用します。)
- ② 移動速度を変更する場合は、[Motion]ウィンドウでSpeedを調整します。
- ③ 拡大/縮小を変更する場合は、モニタ画面下の[Zoom] ボタンにて拡大・縮小します。
- ④ 設定を変更したら、[点検リスト]で該当の番号を選択し、右クリックにて[Edit]を選択して[OK] ボタンをクリックします。

5) 定点リスト表の説明

Description	Preset Position Name
Time	Dwell Time (Patrol Mode時Preset Position長続き時間)
Pan Pos.	Cameraの Pan 位置
Tilt Pos.	Cameraの Tilt 位置
Speed	カメラ 移動速度
Output	Alarm Out 端子の On/Off 可否(oはOn、 xはOff)
Zoom	拡大/縮小の割合

2-7-2. 巡回パターンリスト

[定点リスト] に設定されているモニタ位置を組み合わせて巡回モニターリングを可能にします。

- ① [Preset Position List] で任意のモニタ位置をドラッグし[Patrol Pattern List]に持っていくことにより自動的に[Patrol Pattern List]に追加されます。また[Patrol Pattern List]でドラッグアンドドロップしても該当の位置がコピーされます。

ドラッグ
アンド
ドロップ

No.	Description	Time	Pan	Tilt	Speed	Output	Zoom
1	My Pos 1	1	71	38	7	xx	1
2	My Pos 2	1	160	207	9	oo	1
3	My Pos 3	1	149	91	9	ox	1
4	My Pos 4	1	50	216	10	ox	2

No.	Description	Time	Pan	Tilt	Speed	Output	Zoom
1	My Pos 1	1	71	38	7	xx	1
2	My Pos 2	1	160	207	9	oo	1
3	My Pos 1	1	71	38	7	xx	1
4	My Pos 4	1	50	216	10	ox	2
5	My Pos 3	1	149	91	9	ox	1
6	My Pos 4	1	50	216	10	ox	2

- ② [定点リスト]にて、設定に変更が加えられた場合は[Patrol Pattern]の設定も自動的に変更になります。
- ③ 削除する場合はマウスの右ボタンをクリックして[Delete]メニューを選択します

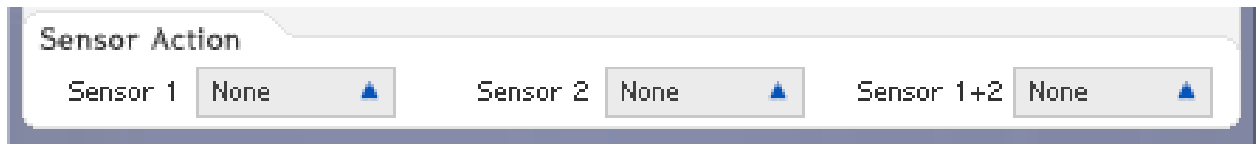
No.	Description	Time	Pan	Tilt	Speed	Output	Zoom
1	My Pos 1	1	71	38	7	xx	1
2	My Pos 2	1	160	207	9	oo	1
3	My Pos 1	1			7	xx	1
4	My Pos 4	1			10	ox	2
5	My Pos 3	1	149	91	9	ox	1
6							

Alarm Out 1
Alarm Out 2

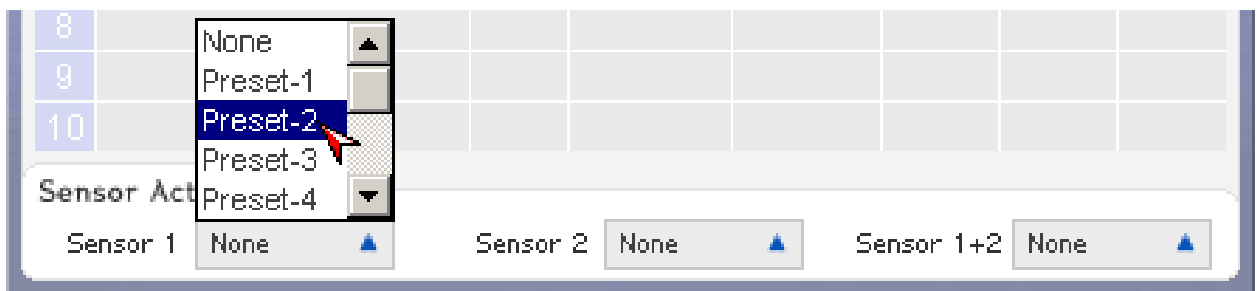
※ 上図No.5の例では、Alarm Outの1番端子だけがOnになっている事を表しています。

2-7-3. Sensor Action

Sensor Actionでは2個のAlarm Input 端子を通じて、信号入力時に移動するポジションや動作を設定できます。



- ① [Sensor1] はAlarm Input 1番端子、[Sensor2]はAlarm Input 2番端子への信号入力時に、どの定点に移動するかを設定します。[Sensor 1+2]はInput 1番端子、2番端子両端子への信号入力時の動作を設定します。
- ② ‘None’ は信号入力時にも、対応動作をしないことを意味します。プリセット番号を指定しておけば信号が入力になった時、指定した位置までカメラを移動させ、さらに指定されたAlarm Outが動作します。



<Sensor1の動作を変更する状態>

例) 仮にAlarm Input 1番端子には窓に設置されたセンサー出力が接続されているとします。窓からの侵入者があった場合、Sensor ActionのSensor 1に設定しておいたプリセット位置にカメラ移動し、指定されたAlarm Outが動作します。(None設定の場合には、何らの動作も行いません)

※ Sensor Actionを指定したあとでMain Windowの[Sensor] ボタンをONにする必要があります。


2-8. モーション

[Motion] ボタンをクリックしますと下図のようにモーションウィンドウが表示されます。

このウィンドウではカメラを移動させて(上下左右)希望の位置を見る事が出来ます。

モーションウィンドウでJog ボタンとAbs.Positionウィンドウを利用してカメラを移動させることもできます。また表示されているモニタ映像の中でクリックしますと、クリックしたポイントが画面の中央に来るようにカメラが移動します。



- ① [Jog] 上下左右の矢印をクリックすることによってカメラは移動します。Centerボタン  をクリックすれば基準位置に移動します。
- ② [Abs. Position] Box中でクリックすることにより該当の位置にカメラが移動します。
- ③ [Speed] スクロールバーを調節してカメラの移動速度を変更できます。設定範囲は10段階です。(Min-----Max)
- ④ [Alarm In] 外部端子 (AI/O) の入力信号の状態を表示します。例えばAlarm In 1番端子に赤外線センサーが接続されている時、信号が入力されるとIn 1番が点灯します。
- ⑤ [Alarm Out] 外部端子 (AI/O) に送る信号のON/OFFを設定します。番号をクリックすることによってAlarm Outの接点がONになります。再度クリックしますとOFFになります。

2-9. ファンクションボタン & ステータスバー

2-9-1. Detection



左図中にて、[Detection] ボタンをクリックしますと、動き検出が開始され Detectionアイコンが点灯します。

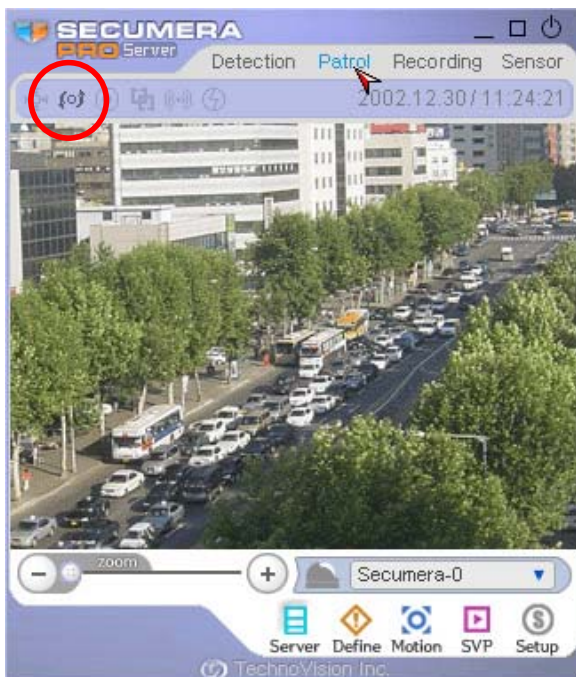
動きが検出されますと[Setup]の[Motion Detection Action]で設定した動作が行われ、状態アイコンが点灯します。

Detection Modeを停止する場合は [Detection] ボタンを再度クリックします。

検出した時間とカメラ名は記録され、Log Listで確認することができます。

動きが検出された場合は、Setupの Detectionで設定された時間、その動作が維持されます。

2-9-2. Patrol



ユーザーが任意で設定した位置を巡回モニタリングします。

[Patrol] ボタンをクリックすることにより、[PatrolPattern List]で設定された順に巡回します。巡回をやめる時は、[Patrol]ボタンをもう一度押します。

現在Patrol ModeのON/OFF状態は Patrolアイコン()にて確認できます。

2-9-3. Recording

[Recording] ボタンをクリックしますと録画が始まります。録画が始まると画面下部にハードディスク容量と使用済みハードディスク容量が表示されます。また、同時に録画された映像ファイルのサイズも表示されます。

録画を終わる場合は、[Recording] ボタンをもう一度押します。

録画されたファイルは[Setup]で指定したRecordフォルダ中に日付フォルダが時動作成され、その中に保存されます。映像ファイル名は録画された時間及び日付を基準に作成されます。(例：2002年6月18日午後4時5分11秒に録画を始めた場合、20020618160511.svf / 20020618160511.sviという2つのファイルが作成されます。)



録画された映像を見る場合、[SVP] ボタンをクリックしますとVideo Playerが起動し、録画された映像を見ることができるようになりました。

2-9-4. Sensor

[Sensor] ボタンをクリックすることによって、Alarm Input信号入力に応じて
 ‘Define’ ウィンドウの[Sensor Action]で設定したプリセット位置及び
 Alarm Output動作を行います。



※ Detection、Patrol、Sensor 各Modeは優先順位が決まっています。優先順位が低いDetection Modeの場合、他のModeONになった時は [Pause]状態（一時停止状態）になります。

優先順位は ‘Sensor’ > ‘Patrol’ > ‘Detection’ です。

2-10. Zoom

Zoomの[+] / [-] ボタン、またはスクロールバーを調節することによって映像の拡大/縮小を行うことができます。

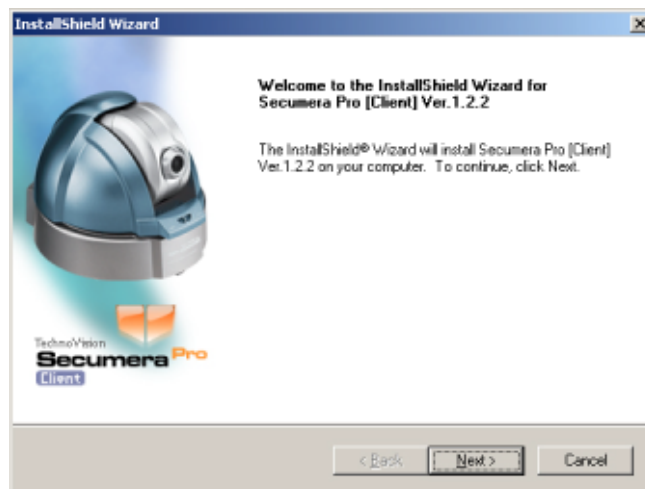
拡大あるいは縮小した後にUser Defineを編集すると、拡大あるいは縮小された映像の情報が保存されます。(Digital Zoom X5)



3. Secumera Pro Client

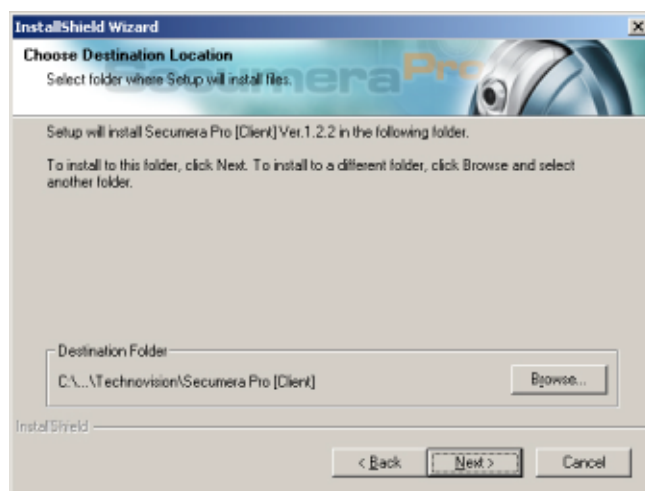
3-1. インストール – Secumera Pro Client

1 ‘Secumera Pro [Client] Setup.exe’ をクリックし、クライアントソフトウェアをインストールします。クライアントソフトウェアでは、サーバーぼモニター映像を観覧したり、カメラをコントロールすることができます。

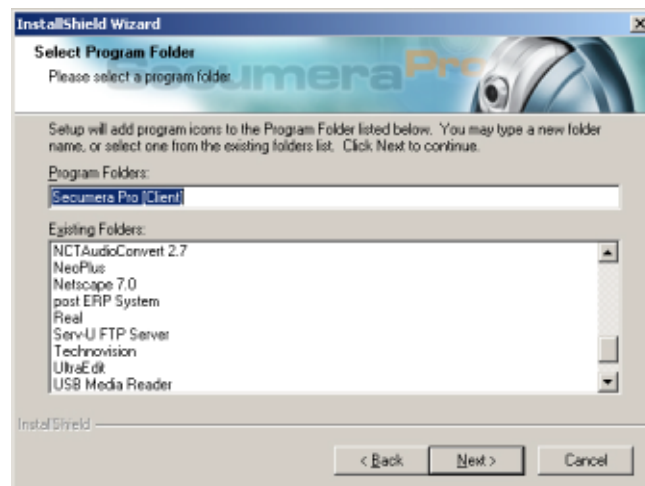


2 先の画面で[Next] ボタンをクリックすると、このプログラムを保存するフォルダを指定する事ができる画面が表示されます。

変更する場合は、[Browse...] ボタンをクリックして変更します。通常はデフォルトのままにしてください。

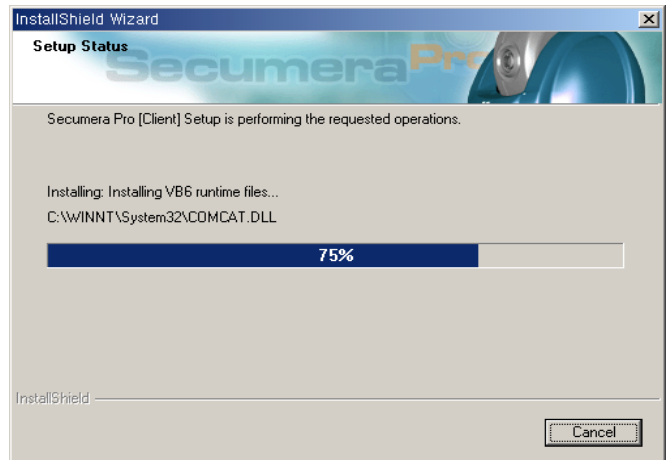


3 プログラムフォルダをデフォルトで設定し、[Next]をクリックしますと右図のような画面が表示されます。



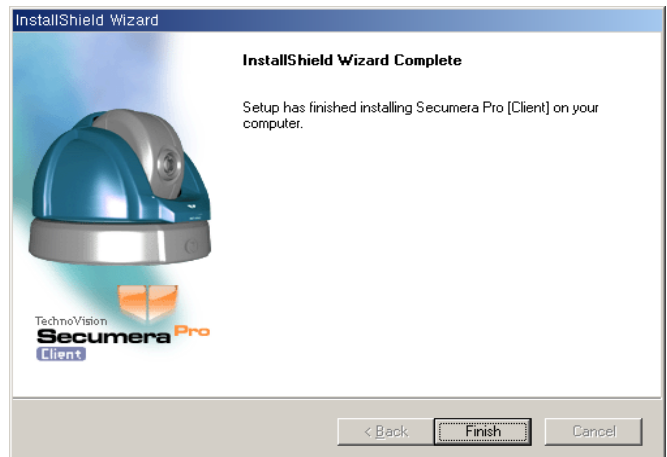
4

インストール状況が右図のように表示されます。
 中断する場合は[Cancel] ボタンをクリックして下さい。



5

インストールが終了しますと右図のような画面が表示されます。
 [Finish] ボタンをクリックして、インストールは終了です。



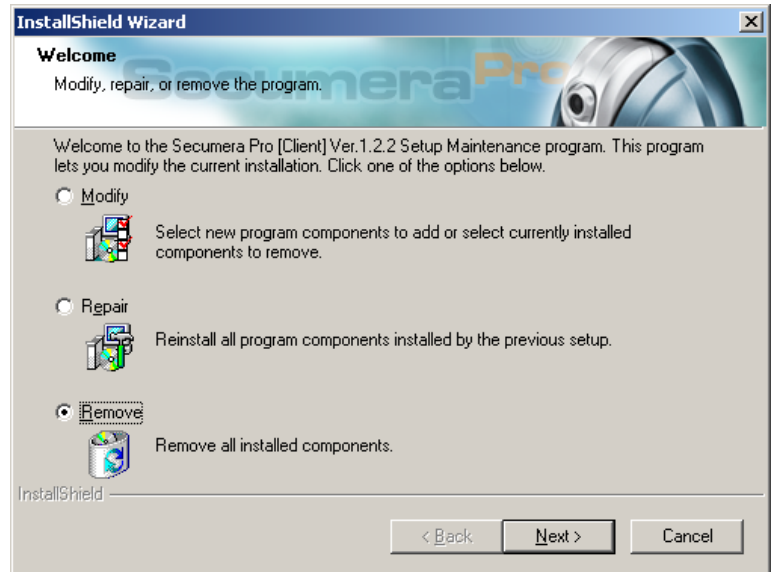
インストールが正常に終了しますと、[スタート]メニューにフォルダが作成されます。
 Windowのデスクトップ画面には下図のようにSecumera Pro [Client]のショートカットが作成されます。



3-2. アンインストール – Secumera Pro Client

1 ‘Secumera Pro [Client] Setup.exe’ をダブルクリックするか[スタート]メニューの[プログラム]/[TechnoVision]グループで ‘Uninstall Secumera Pro [Client]’ をクリックすることにより、プログラムを削除することができます。

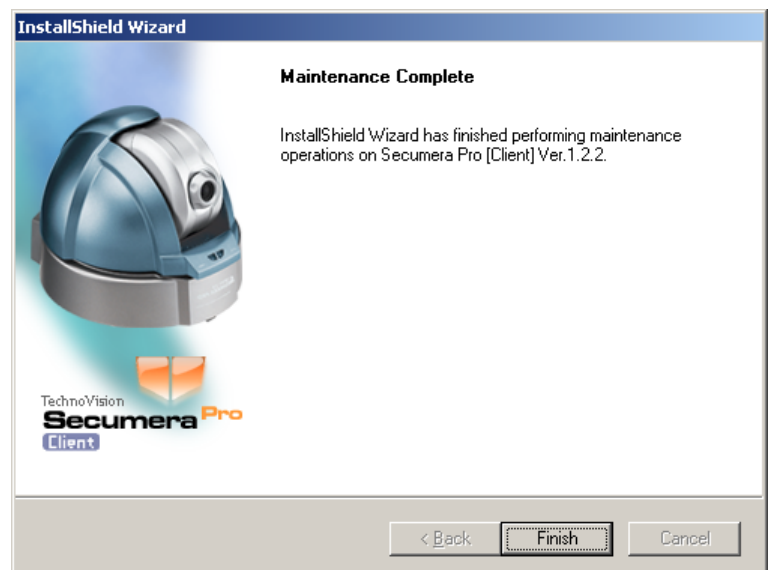
プログラムがインストールされている場合、右図のような画面が表示されますので、[Remove]を選択して[Next]ボタンをクリックします。



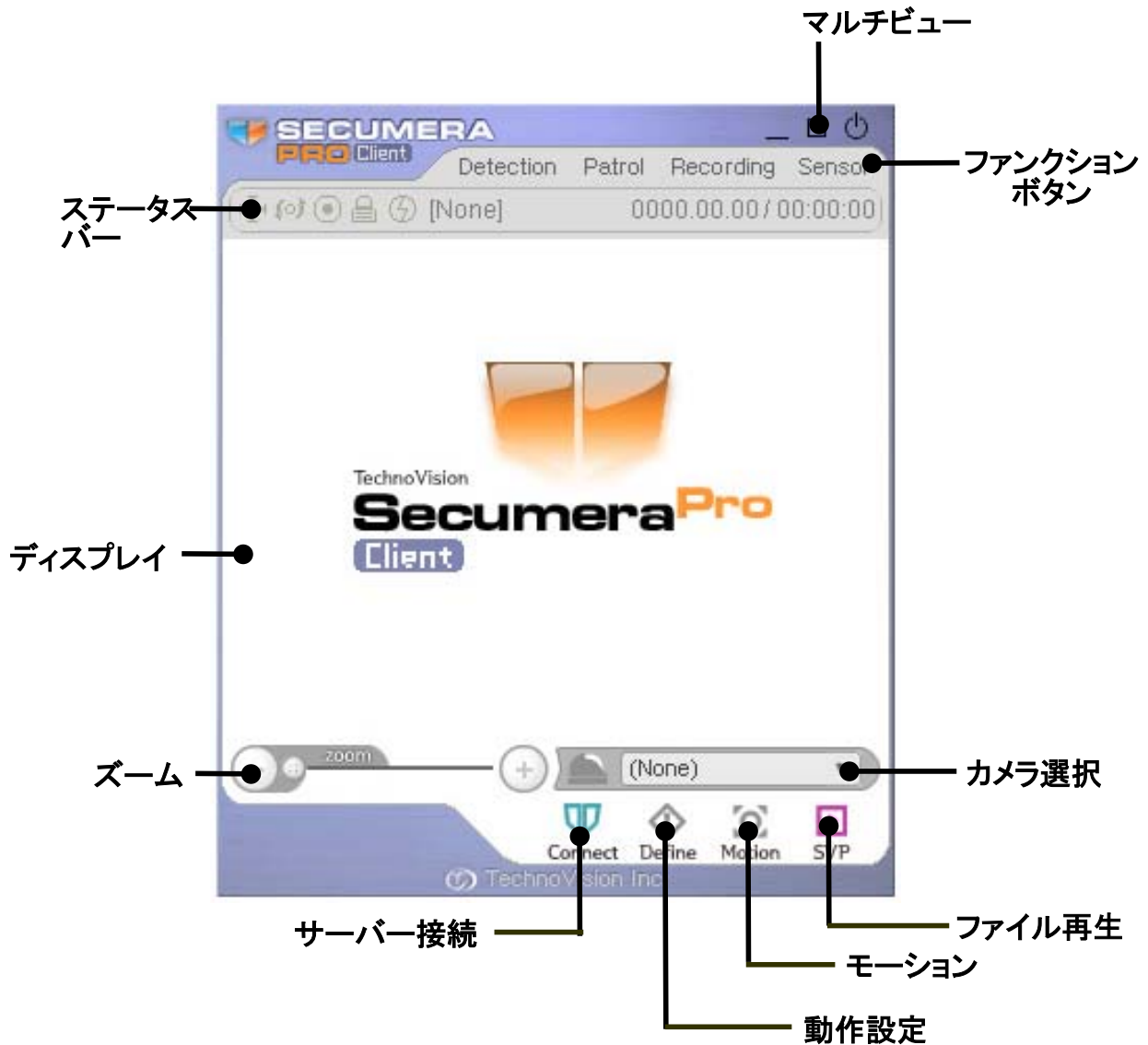
2 プログラム削除の確認メッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックして先に進みます。




3 削除が終了すると右図のような画面が表示されます。[Finish] ボタンをクリックして作業は終了です。



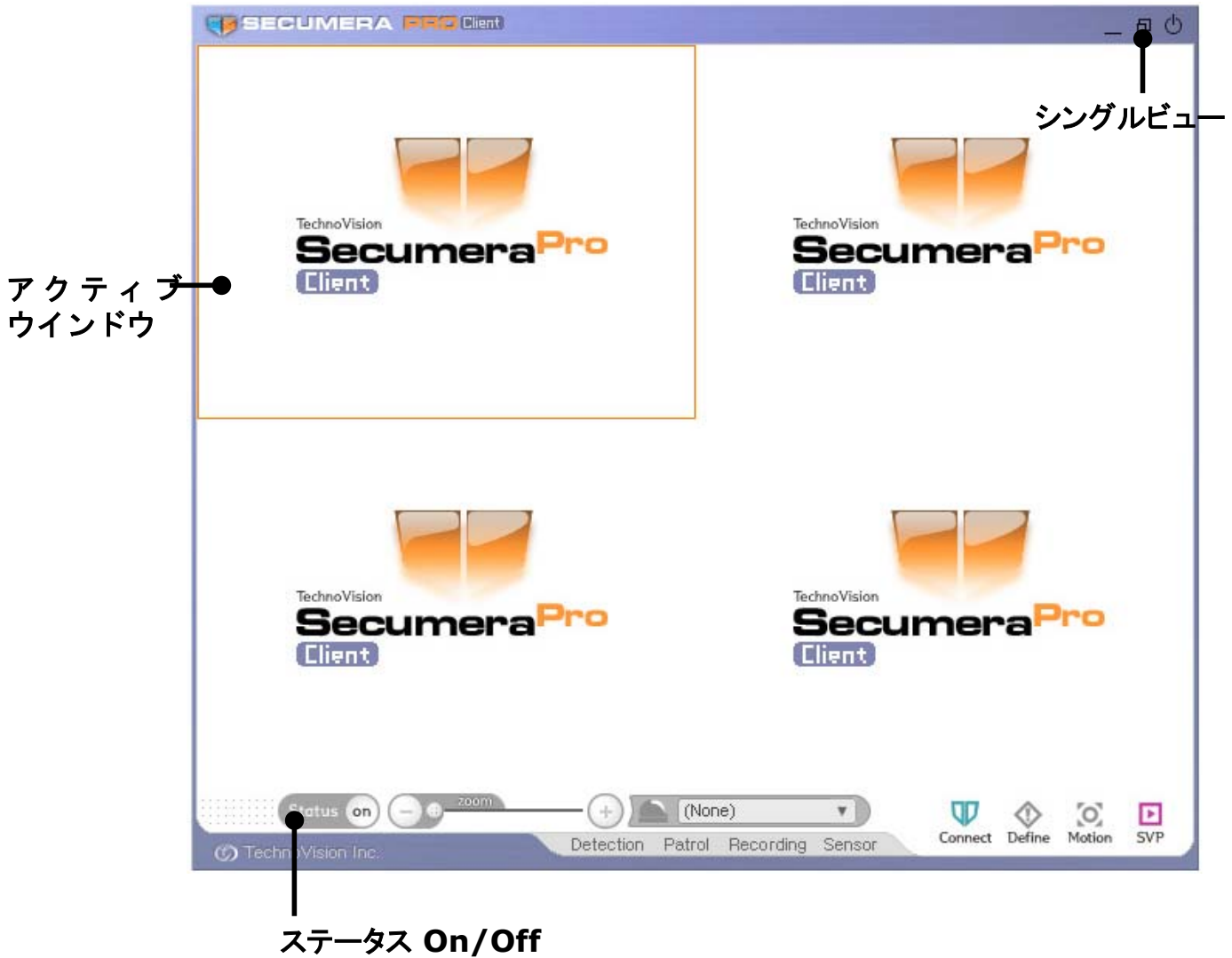
3-3. 構成



Secumera Proは基本的に320 X 240 モードで表示されます。この時ディスプレイ画面でマウスの右ボタンをクリックしますと640 X 480 モードに画面が拡大されます。再度マウス右ボタンをクリックすればマルチビューモード(4個画面)で表示されます。

マルチビューモードから320 X 240 モードに変更する場合は右上の[シングルビュー] ボタン  をクリックします。

<マルチビューボタンをクリックした場合>

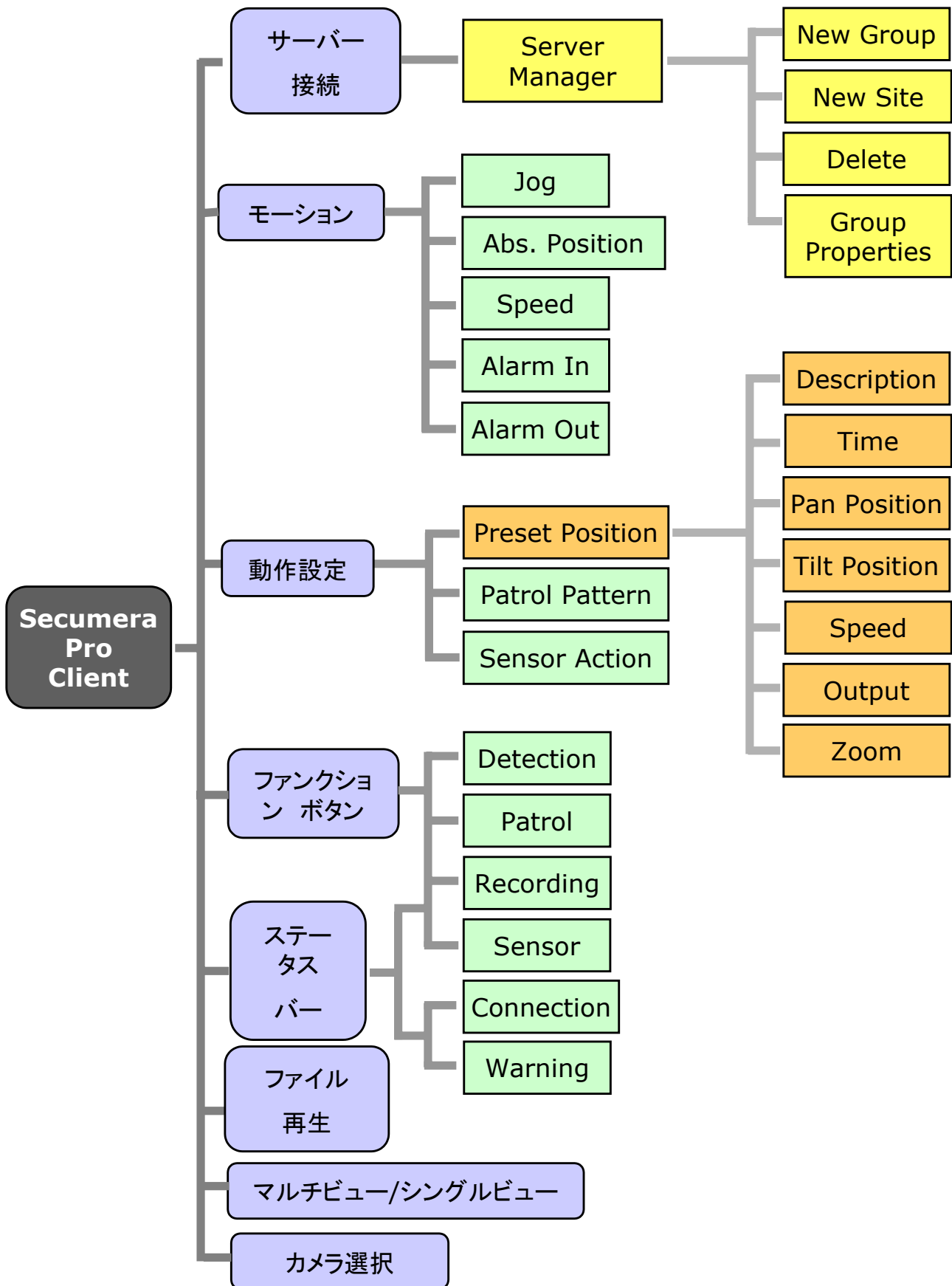


[ボタン 説明]

サーバー 接続	サーバーに接続します。クリックするとサーバーの映像及び設定データにアクセスすることができます。
マルチビュー・ シングルビュー	複数のサーバーに接続して4が面まで同時に表示します。または1つの画面に切り替えることができます。
動作設定	動作設定が表示されます。動作設定では定点と巡回パターン、Alarm Inputを設定できます。
モーション	モーションウィンドウが表示されます。モーションではカメラのPan/Tilt動作制御とAlarm Outputを設定できます。

<p>ファイル再生</p>	<p>Video Playerにより、録画された動画を再生します。</p>	
<p>カメラ選択</p>	<p>コンピューターに複数のカメラが接続されている場合、制御（モニタ）するカメラを選択します。</p>	
<p>ファンクションボタン</p>	<p>Detection、Patrol、Record、Sensor 機能をON/OFFします。</p>	
	<p>Detection Mode</p>	<p>画面の動きを感知して警告音、録画、Alarm Output、メールなどでユーザーに連絡します。</p>
	<p>Patrol Mode</p>	<p>ユーザーが設定した場所を巡回パトロールします。</p>
	<p>Recording Mode</p>	<p>映像を録画します。</p>
	<p>Sensor Mode</p>	<p>Alarm Inputと連動してユーザーが指定した動作を行います。</p>
<p>ステータスバー</p>	<div data-bbox="443 1122 1353 1435" data-label="Image"> </div> <p>現在状態を表示します。</p> <p>Detection、Patrol、Recording、Sensor ModeがONになると、各アイコンが点灯します。</p> <p>ゲストモードで接続の場合にはゲストアイコンが点灯します。</p> <p>カメラ名には、現在接続中のサーバーに接続されているカメラ名が表示されます。同時にサーバーの日時が表示されます。</p> <p>マルチビューの時のステータスバー表示のOn/Offは、クライアントプログラム左下にあるStatus On/Offボタンをクリックします。</p>	


3-4. 系統図



3-5. 機能

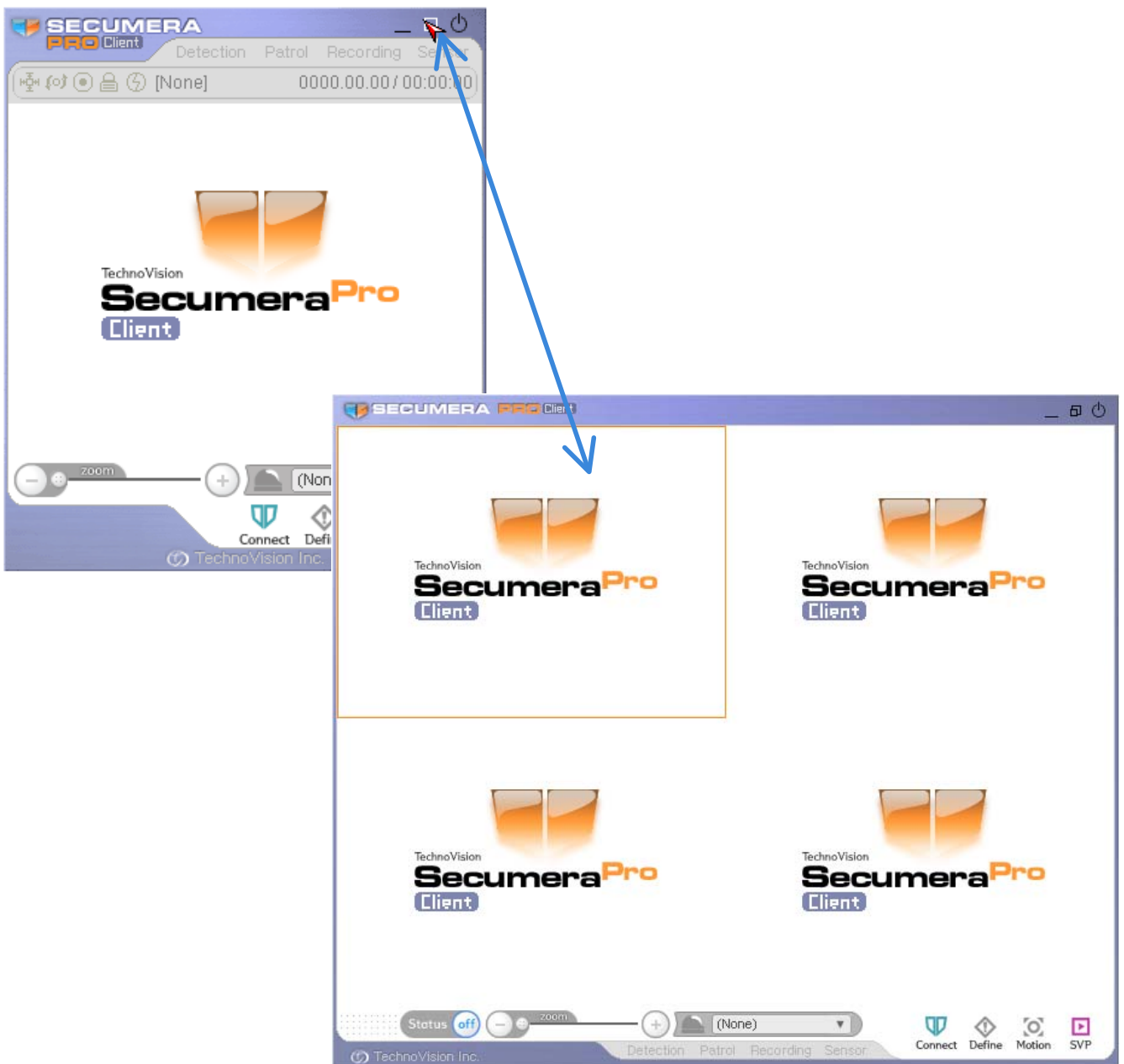
3-5-1. シングルビュー・マルチビュー

Secumera Pro Client プログラムでは、最大4台のカメラ映像を同時表示できます。

プログラム右上の[マルチビュー] ボタン()をクリックすれば、下図のように1画面、もしくは4画面と切り替えることができます。

4つの画面の中で現在選択されている（アクティブになっている）画面は下図のようにオレンジ色の枠線で表示されます。

4画面で表示中に1画面に切り替えますと、アクティブになっている画面以外の映像は、自動的にサーバーとの接続を切断します。

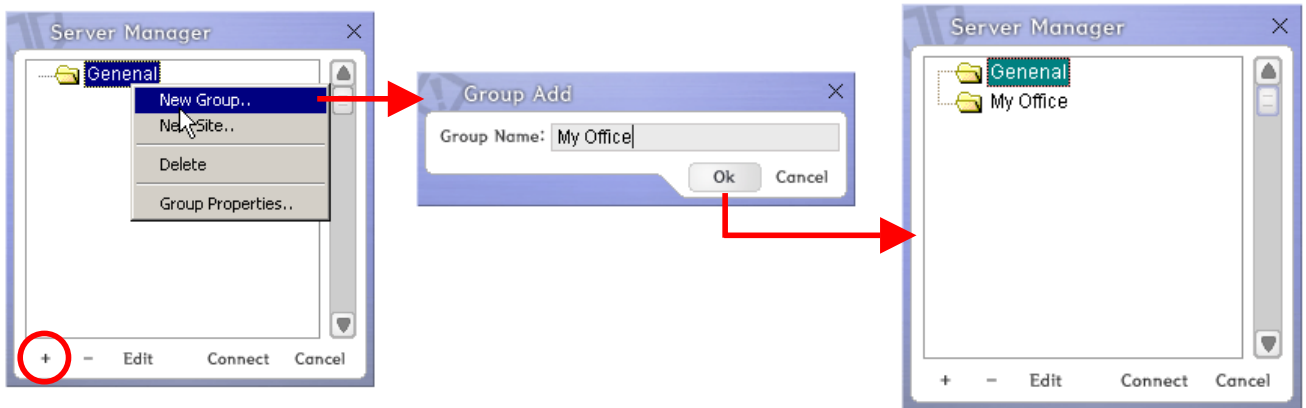


3-5-2. サーバーへの接続(Connect To Server)

Server Managerではグループ別でサーバーリストを管理することができます。

1) 新しいグループを追加する

新しいグループを追加する場合は、上位にあるグループを選択して[+] ボタンをクリックするか、そのグループ上にてマウス右ボタンをクリックして[New Group..]を選択します。グループ名前を記入し[OK] ボタンをクリックしますと、次のようにServer Managerに新しいグループが加えられます。



2) 新しいサイトを追加する(カメラサーバー)

新しいサイトを追加する場合は該当のグループを選択してマウス右ボタンをクリックして[New Site..]メニューを選択します。
サーバーの名前は、任意に入力が可能です。
IDとパスワードは、サーバー側で設定されているIDとパスワードを入力します。
IPアドレスは、サーバーのIPアドレスを入力します。



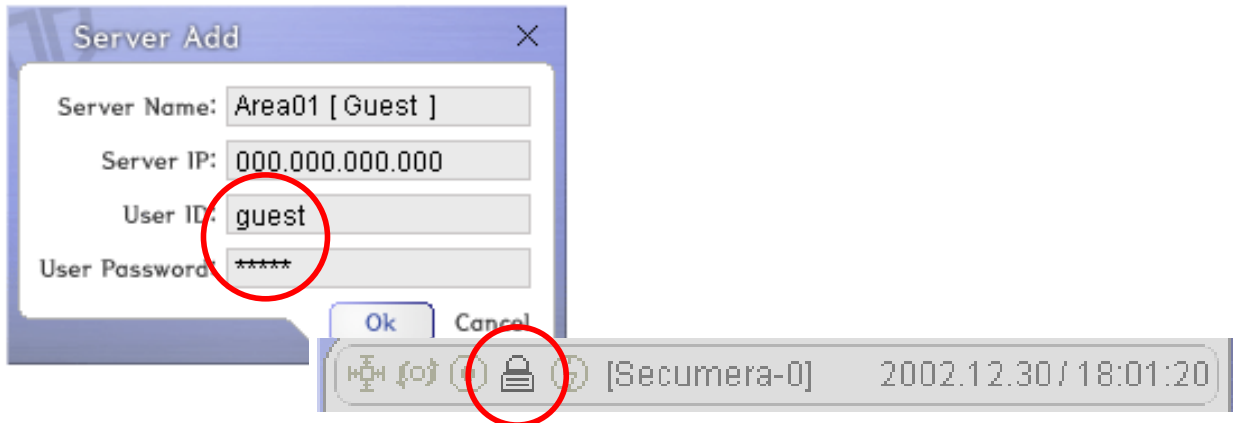
3) サイトに接続する(カメラサーバー)

サーバーに接続するにはリスト中の該当サーバー名を選択した後、[Connect] ボタンをクリックするか、サーバー名をダブルクリックします

4) ゲストモードで接続する

設定されたIDやパスワードがわからない場合には、ゲスト権限でサーバーに接続することが出来ます。

接続するためには下図のようにIDとPasswordに‘guest’と入力します。ゲスト権限で接続した場合はカメラのコントロールは出来ません。映像のモニタだけになります。ゲスト権限で接続中は、下図のようにGuest Modeアイコンが点灯します。



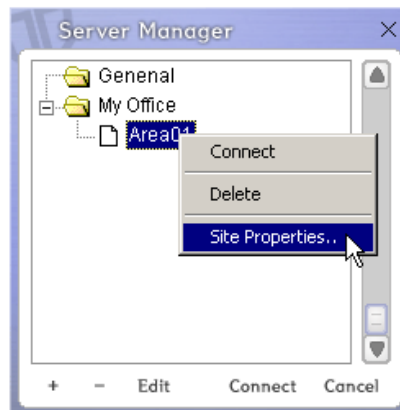
<Secumera Pro Server>

5) グループ/サイトの削除

リスト中のグループやサイトを削除するには、該当のグループ名あるいはグループやサイトを除去するためには該当のグループあるいはサイト名を選択した後、マウス右ボタンをクリックして[Delete]メニューを選択します。

6) グループ/サイトの情報の確認や変更

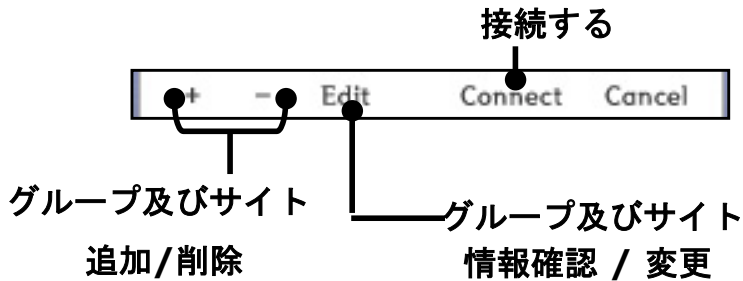
サイトのIP Addressなど情報を確認、変更するためには該当のサーバー名を選択してマウス右ボタンをクリックした後[Site Properties..]メニューを選択します。



※ 任意のポート番号を使用するサーバーに接続する場合IP Addressのあとに‘:’とPort番号を付加します。

(例) IP Address:Port → 192.168.1.15:8000

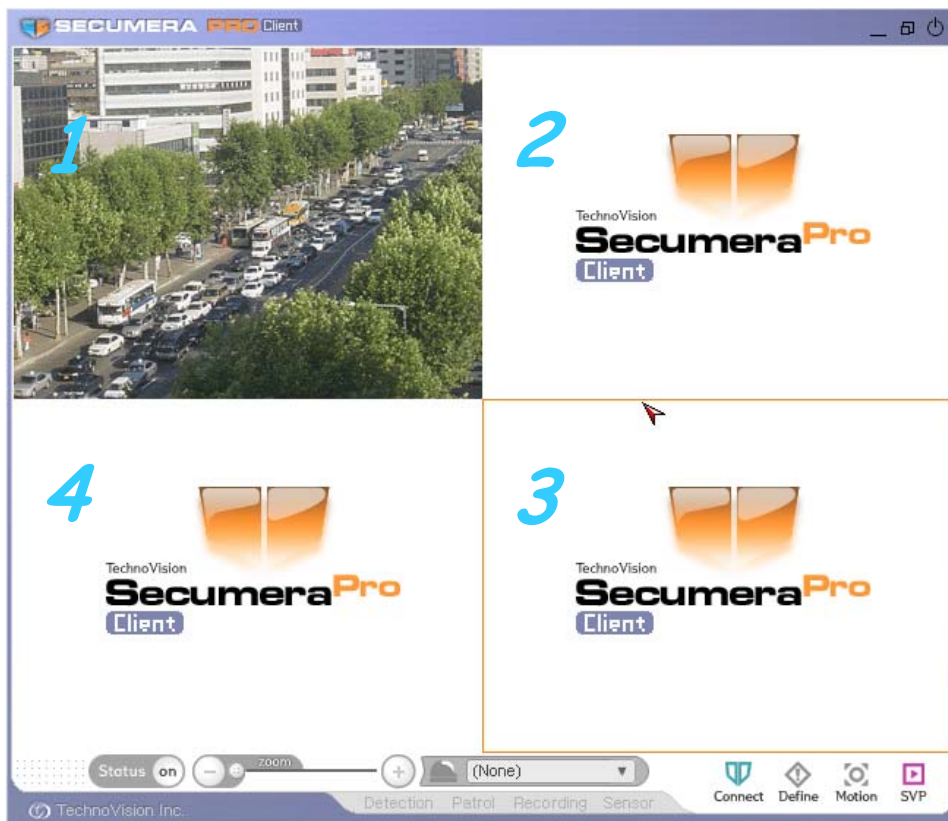
[Server Manager ボタンの説明]



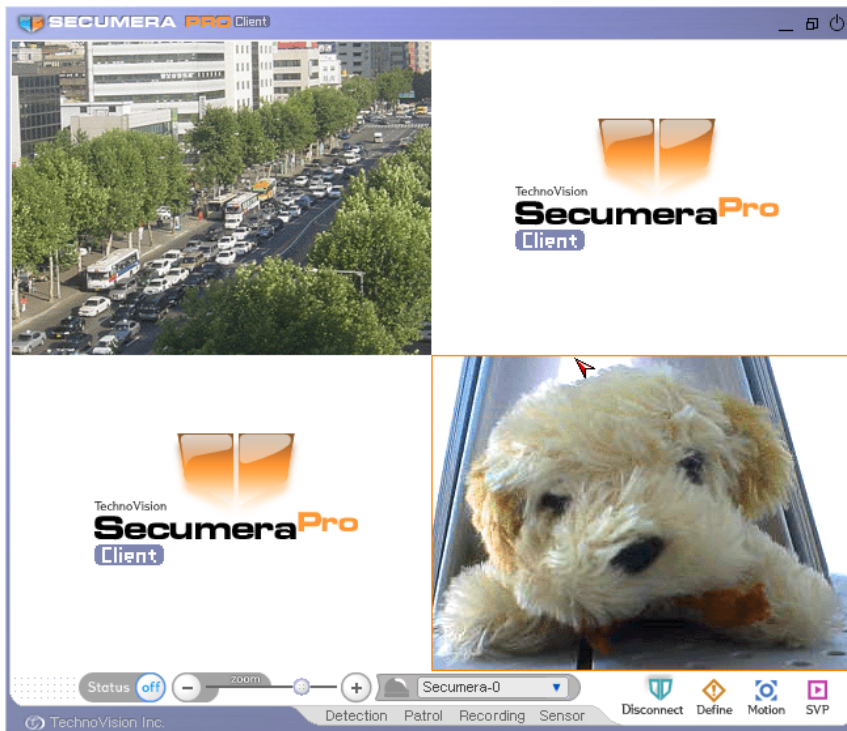
※ グループを選択した状態で[+]/[-]/[Edit] ボタンをクリックすることによりグループを追加/削除/変更できます。
 サイトを選択した状態で[+]/[-]/[Edit] ボタンをクリックすればサイトを追加/削除/変更することが出来ます。

※ **グループ名とサイト名には、同一の名前をつけることは出来ません。**

[マルチビュー]画面にて他のサーバーに接続するには、希望のウィンドウ(画面)をアクティブにしてから、3-5-2 3)項に従いサーバーに接続します。



< 2つの違うサーバーに接続した状態 >



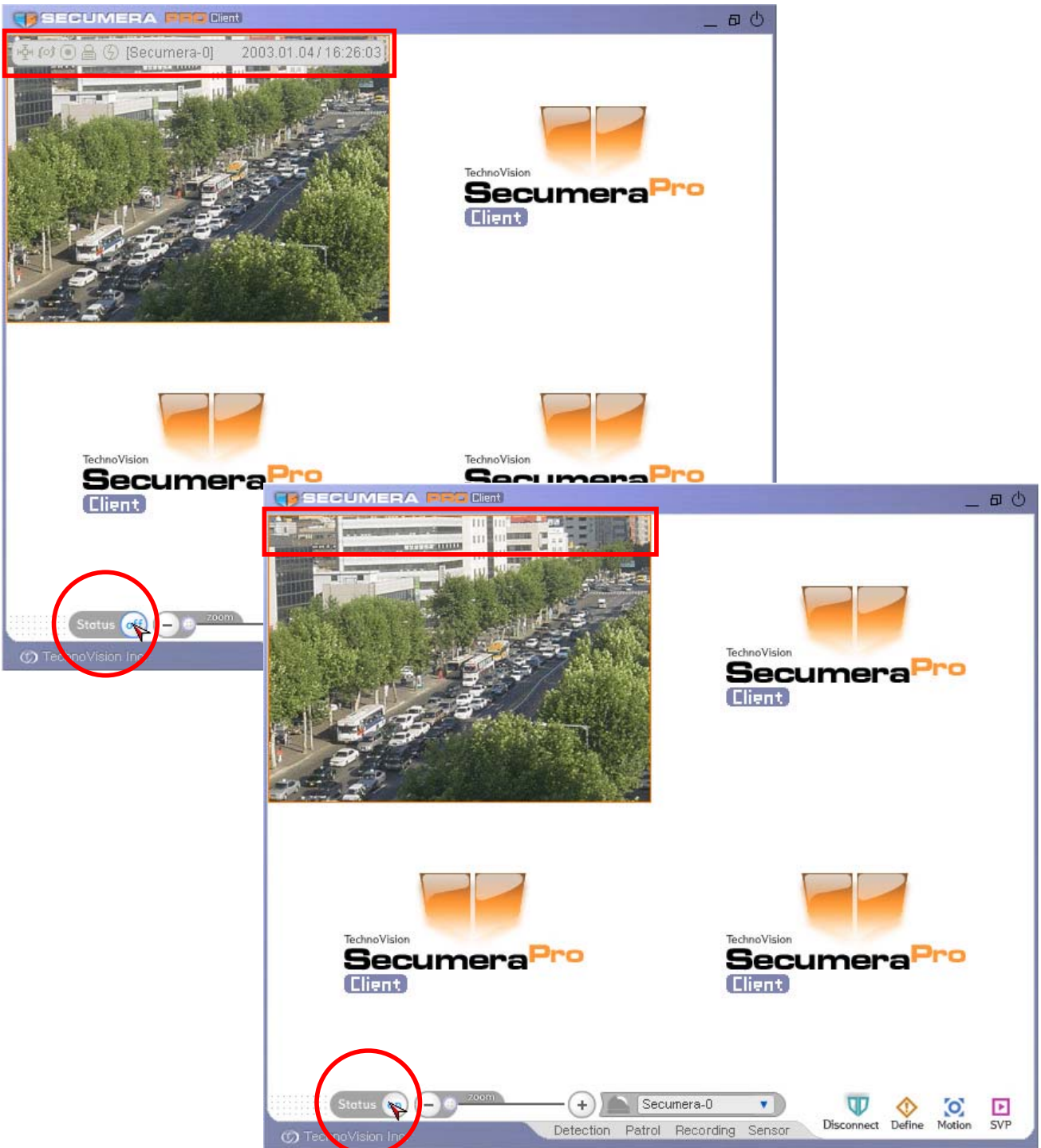
クライアントがサーバーに接続した時には、下図のようにサーバープログラム上のアイコンが点灯し、クライアントが接続中であることが確認できます。



< 2つのクライアントがサーバーに接続している状態 >

3-5-3. ステータスON/OFF

下図のようにStatus ボタンをクリックすることにより、ステータスバーの表示をON/OFFすることができます。この時表示される日付及び時間は、Secumera Pro Serverが作動中のコンピュータの日付と時間です。



3-6. ファイル再生

録画された映像ファイルを見るためにはSecumera Video Playerがインストールされている必要があります。

Video Playerはコンピューター内のsviファイルを開いて映像を再生します。また、Video Serverに接続してVideo Serverが実行中のコンピューター内のsviファイルを開いて映像を再生することもできます。

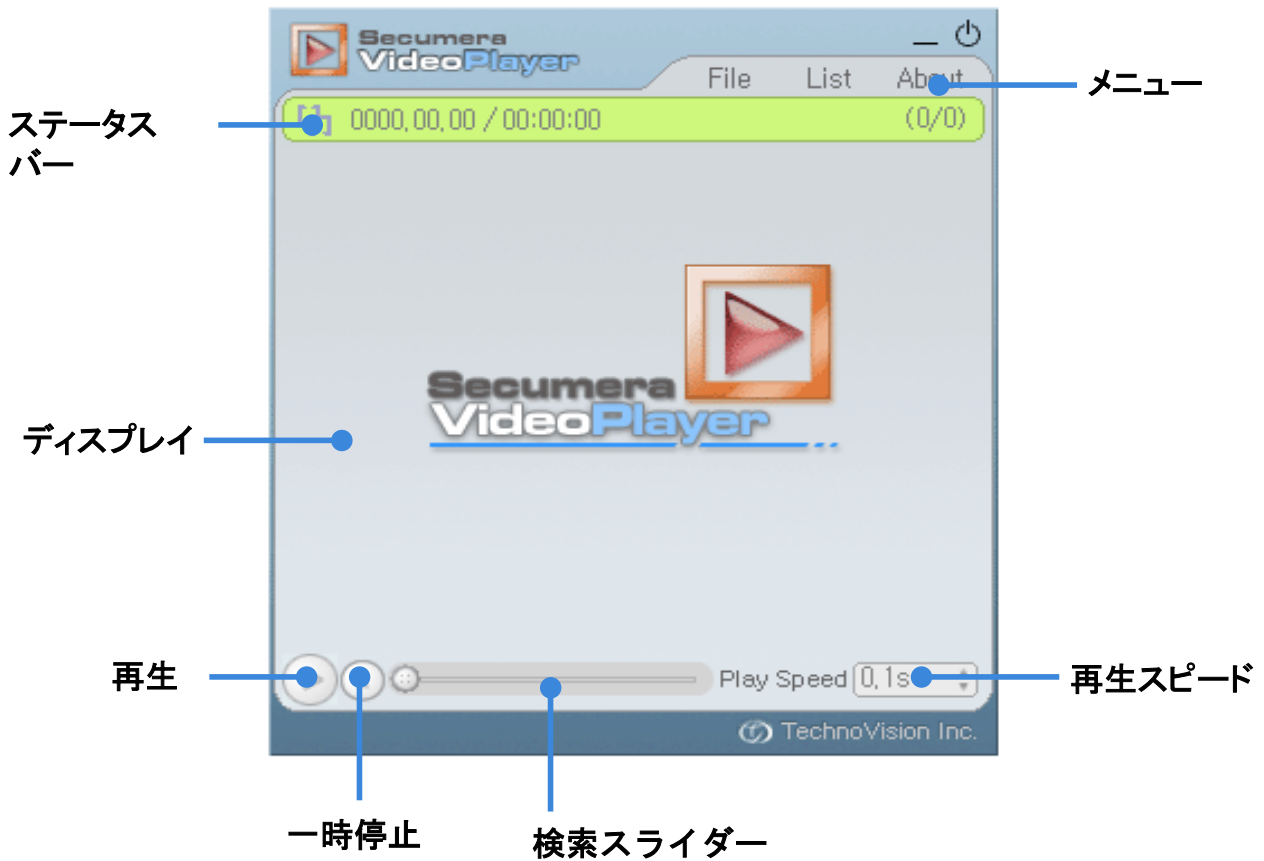


Video ServerはSecumera Pro Server プログラムが実行中は、同時に実行されています。この時Video ServerのON/OFFはステータスバー上のVideo Serverアイコンで確認することができます。




4. Secumera Video Player

4-1. 構成



[ボタンの説明]

ステータスバー			
	サーバー接続	日時	現在のフレーム数/ 全体のフレーム数
	<ul style="list-style-type: none"> • サーバー接続 	Video Serverに接続している時は、このアイコンが点灯します。	
	<ul style="list-style-type: none"> • 日時 	現在再生中の録画ファイルが録画された時の日時を表示します。	
<ul style="list-style-type: none"> • 現在のフレーム数 / 全体のフレーム数 	現在再生中のファイルのすべてフレーム数と録画なったすべてフレーム数を表示します。		

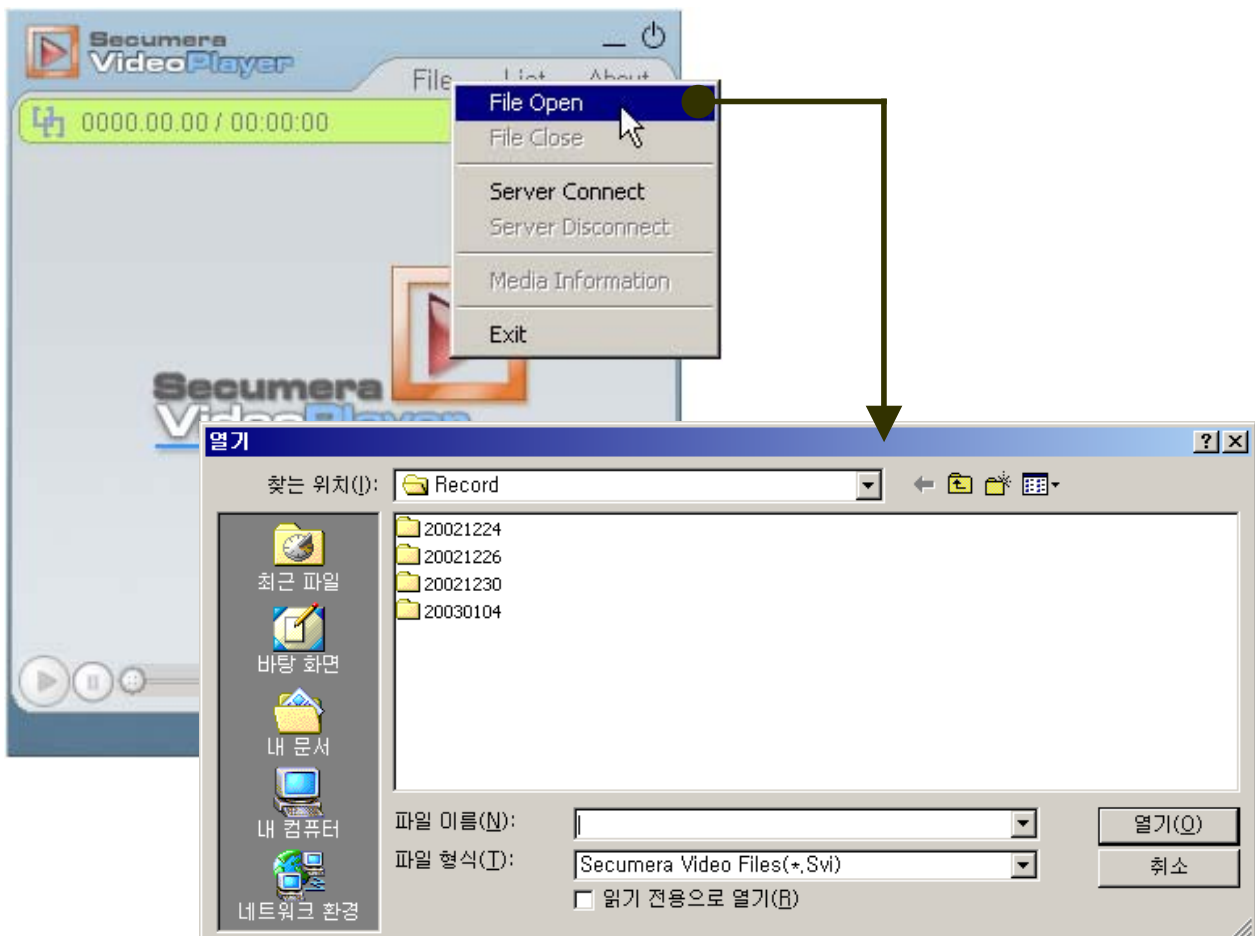
ディスプレイ	録画された映像が再生表示されます。	
再生/停止	録画された映像の再生・停止ボタンです。	
一時停止	再生中のファイルの一時停止ボタンです。クリックするたびに一時停止・再生を繰り返します。	
検索スライダー	再生中のファイルの進行状態を表示します。このスライダーを利用すれば部分的な再生が可能になります。	
再生スピード	フレームの間のインターバルを表示します。 0.01秒から2秒の間で変更が可能です。 デフォルトは0.1秒です。	
メニュー		
	•File	現在メディアプレーヤーが実行中のコンピューターの録画ファイルを開いたり、サーバーに接続して録画ファイルを開くことができます。
	•List	Detection List、Recording Listウィンドウを表示します。 -Detection List: Detection Mode時に検出により録画された映像のリストを表示します。 -Recording List: ユーザーがマニュアルで...したファイルリストを表示します。
	•About	ビデオプレーヤーのバージョン情報などを表示します。

4-2. 機能

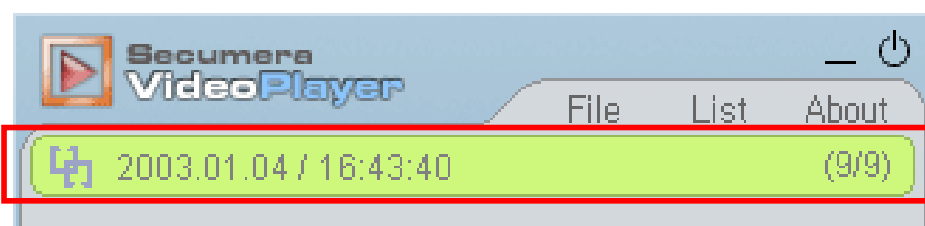
4-2-1. ローカルコンピューターで録画アファイルを再生する。

Video Serverに接続せずに現在ビデオプレーヤーが実行中のローカルコンピューター内にある録画ファイルを再生できます。

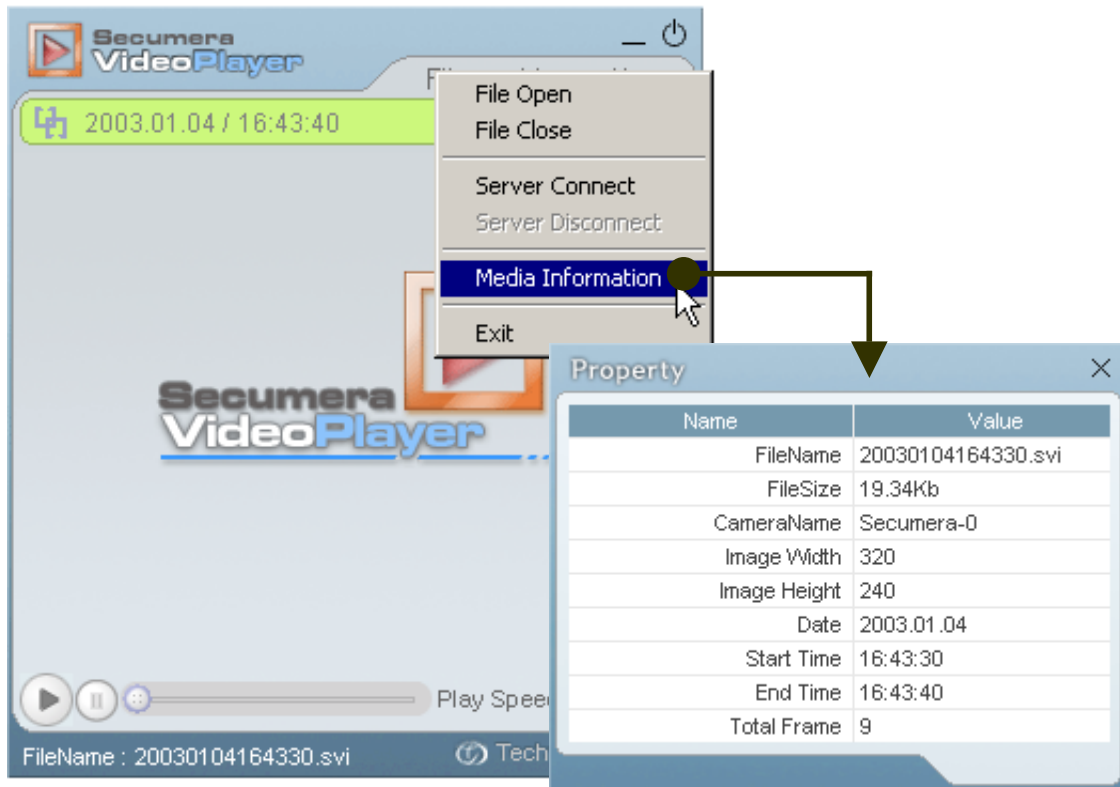
- 1) [File]メニューの[File Open]メニューを選択します。
録画された日付ごとにフォルダが作成されているので、再生する日付のフォルダを開いて保存されている映像ファイルを再生できます。



- 2) 録画ファイルを開くと次のようにステータスバー上に映像ファイルが録画なった日時とすべてのフレーム数が表示されます。



- 3) [File]の[Media Information]を選択すると、次のように再生するファイルの情報が表示されます。

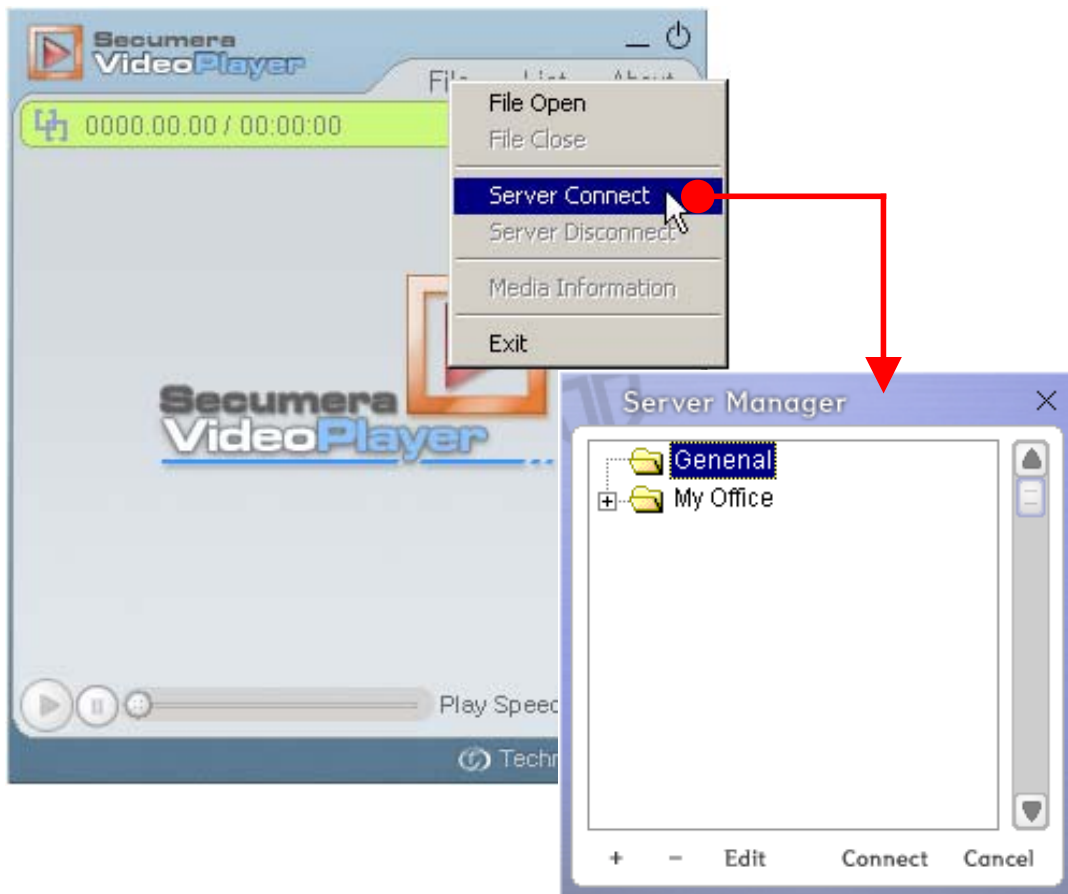


項目	説明
File Name	開いているファイルの名前
File Size	ファイルサイズ
Camera Name	録画したカメラ名
Image/Width/Height	解像度
Date	録画された日時
始め/End Time	録画開始及び終了時刻
Total Frames	全体のフレーム数

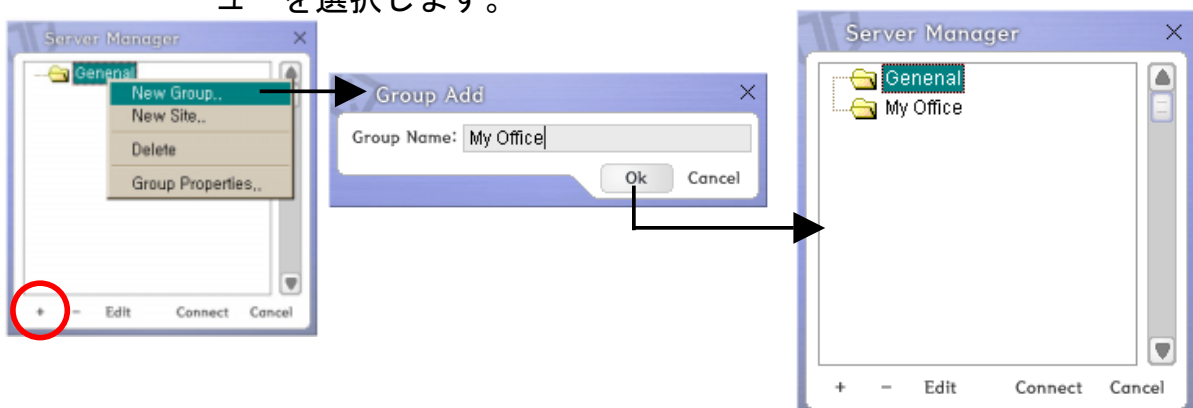
4-2-3. サーバーコンピューターに接続してメディアファイル再生する。

ビデオサーバーに接続して、サーバーが録画保存したファイルを再生できます。

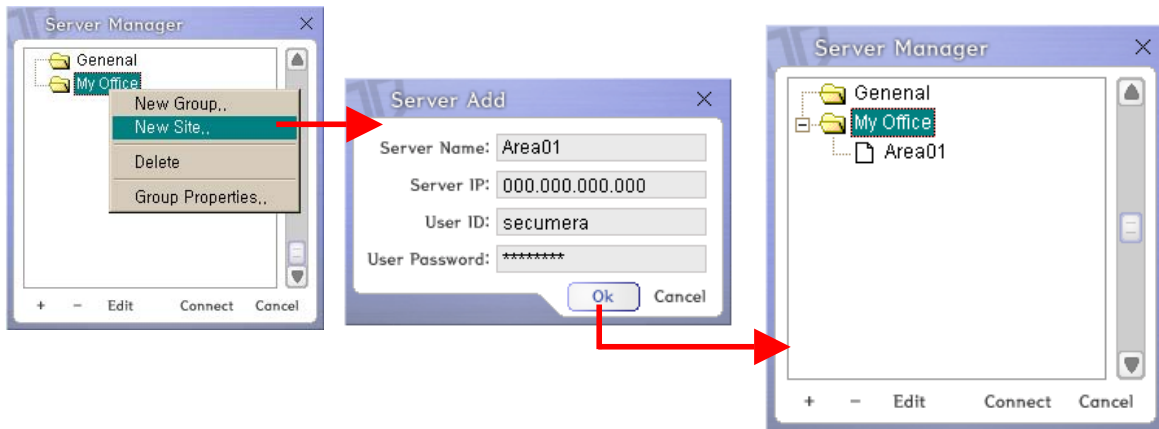
- 1) ビデオサーバー内のファイルを再生するためには、
[File] → [Server Connect] → [Server Manager]で登録されたサーバーを選択してダブルクリック、もしくは[Connect] ボタンを使用します。



- 2) 新しいサーバーに接続するためには[SPCamera Server List]を選択し、マウス右ボタンをクリックして[New Camera Server..]メニューを選択します。



- 3) Server NameとServerのIP Address、ID/Passwordを入力した後 [OK] ボタンを押せばサーバーリストに新しいサーバーが追加されます。



サーバーに接続するためにはリスト中の該当サーバー名を選択した後 [Connect] ボタンをクリックするか、マウス右ボタンをクリックして [Connect]メニューをクリックします。

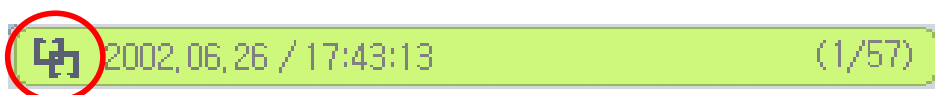
リストからサーバーを削除するには該当サーバー名を選択した後、マウス右ボタンをクリックして [Delete]メニューをクリックします。

サーバーのIP Addressなど情報を確認・変更するには、該当サーバー名を選択してマウス右ボタンをクリックした後、 [Server Properties..]メニューを選択します。

4-2-4. 接続 確認

ビデオサーバーに接続されると、下図のいようにステータスバー上に接続状態を表すアイコンが点灯します。ビデオサーバーが実行中であるサーバーには、タスクバー上のアイコンが点灯します。

<Video Player Status Bar>



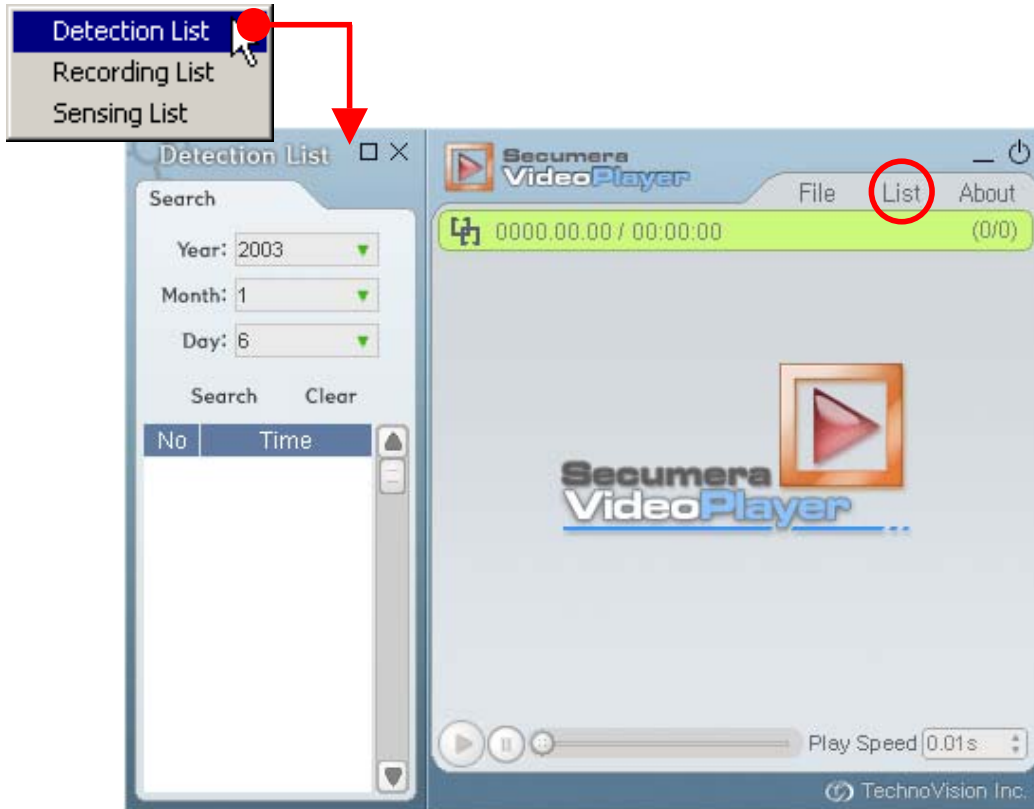
<Server Computer Task Bar>



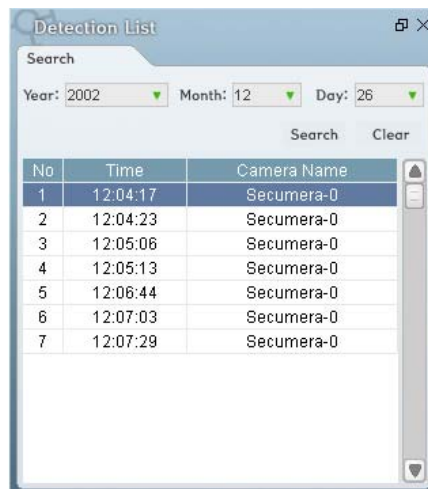
接続中のビデオサーバーでファイルを選択する方法については、次のDetection ListとRecording Listの項目を参照してください。

4-3. Detection List

[List]メニューの[Detection List]をクリックすれば下記のようにDetection Listの窓が現われます。Detection ListはMotion Detection Modeである時動きが感知されれば自動で録画が進行されて、この時保存されたメディアファイルたちを日付あまり検索して見せてくれます

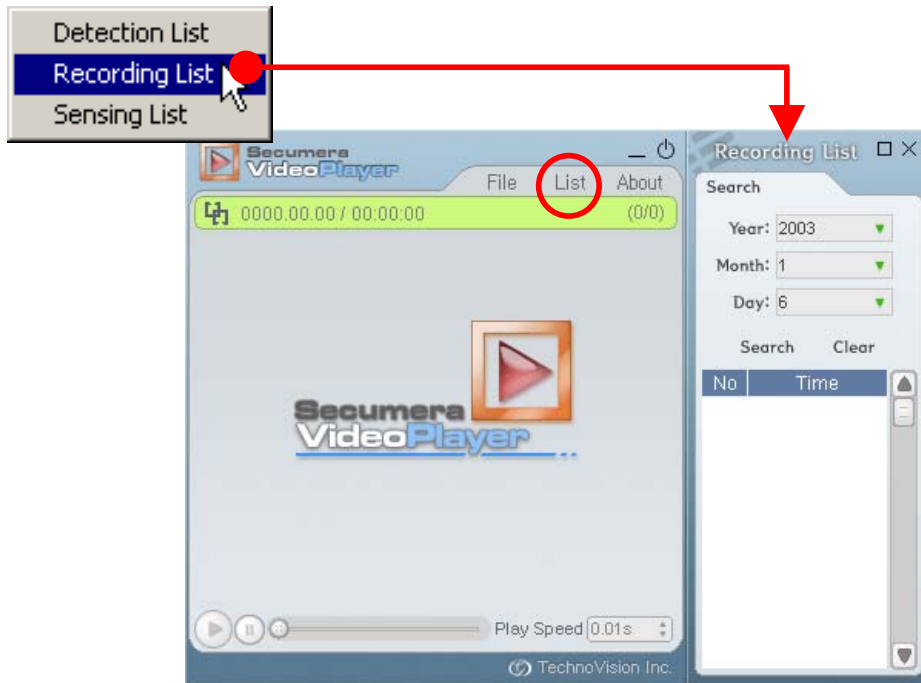


Detection Listウィンドウの拡張ボタン(□)をクリックしますと各ファイルごとのカメラ名を確認することが出来ます。再度、ボタン(□)をクリックすれば、元のサイズに戻ります。



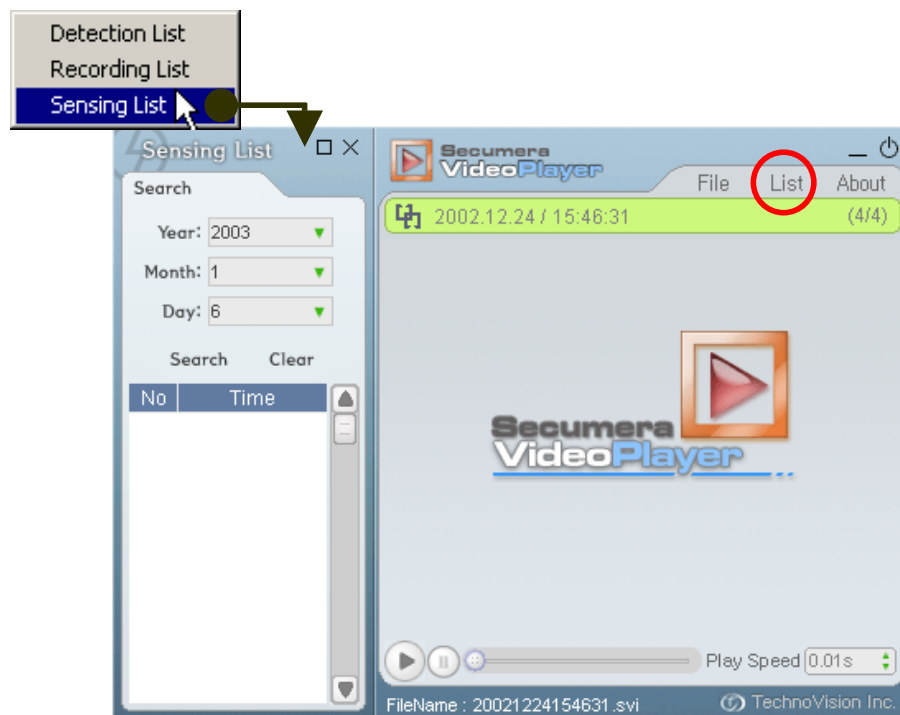
4-4. Recording List

[List]メニューの[Recording List]を選択すると、下図のようにRecording Listウィンドウが表示されます。保存されたファイルを日付ごとに検索表示します。



4-5. Sensing List

[List]メニューの[Sensing List]を選択すると、次のようにSensing Listウィンドウが表示されます。録画されたSensing Listを日付ごとに検索表示します。

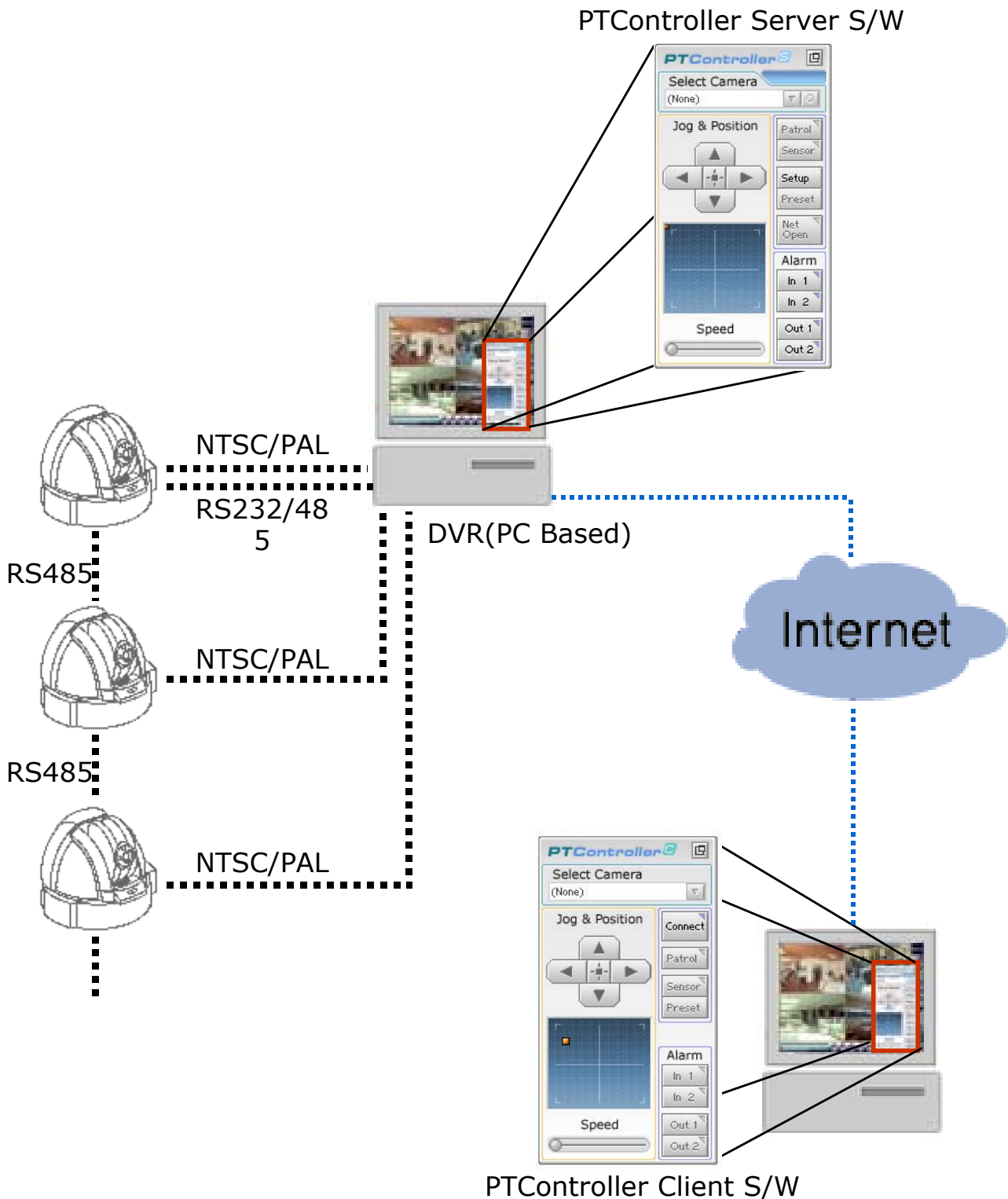


5. Secumera Pro PTController Server

5-1. 概要

Secumera Pro PTControllerはDVR(PC ベース)のようなモニターリングシステムで活用できるカメラ制御用ソフトウェアです。
またDVR(PC ベース)がインターネットなどに接続されている場合、遠隔地（クライアント側）からもカメラを制御することができます。

❖ Application Diagram



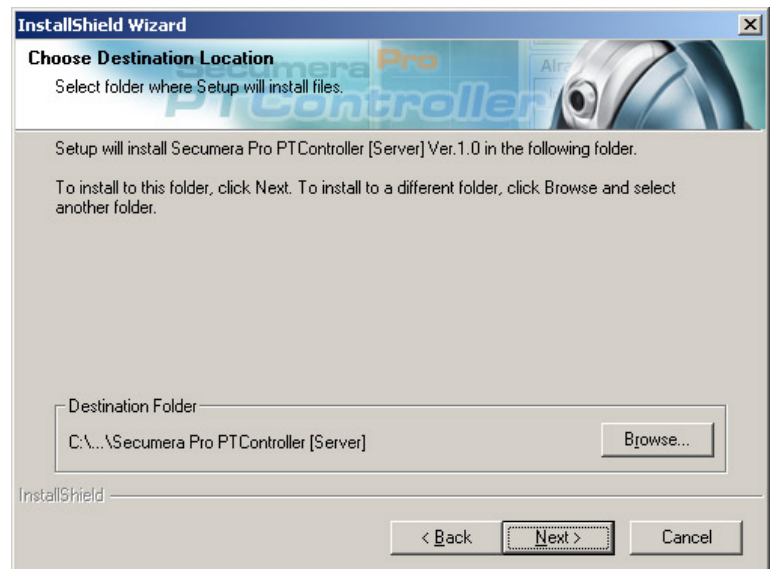
5-2. インストール- PTController Server

1 'Secumera Pro PTController [Server] Setup.exe' を実行することにより、インストールが始まります。

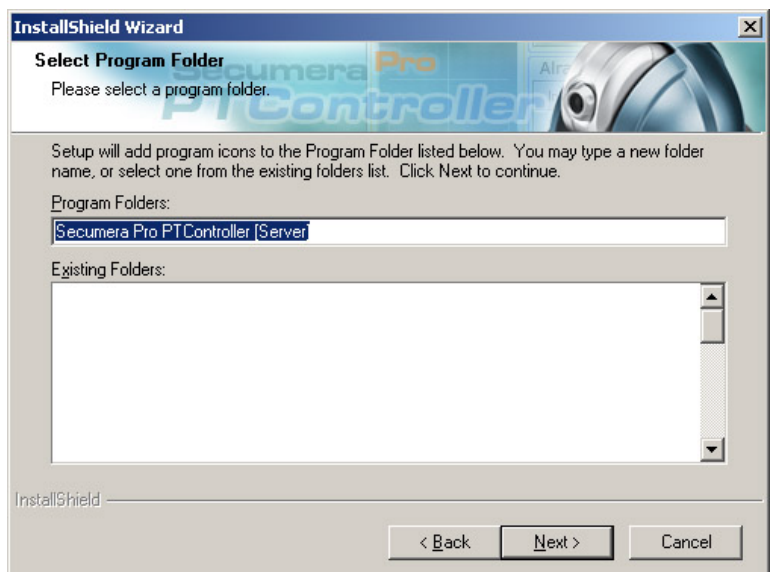


2 [Next] ボタンをクリックすると、インストール先フォルダを示した画面が表示されます。

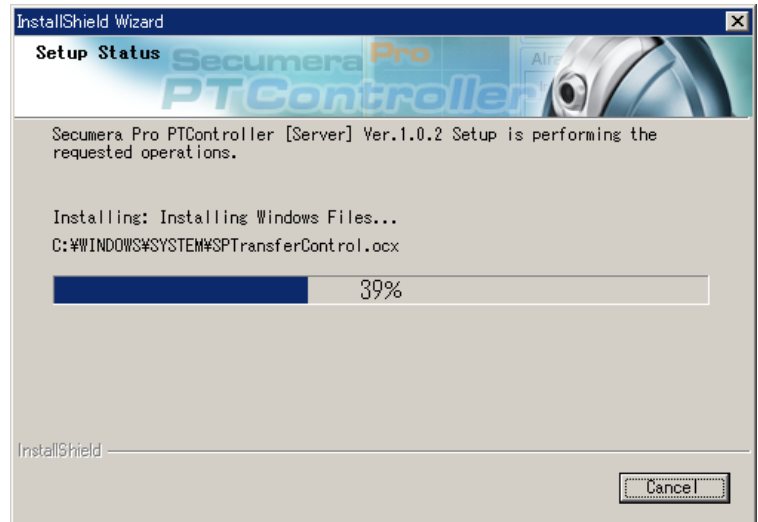
[Browse..] ボタンにより、インストール先フォルダを変更できます。



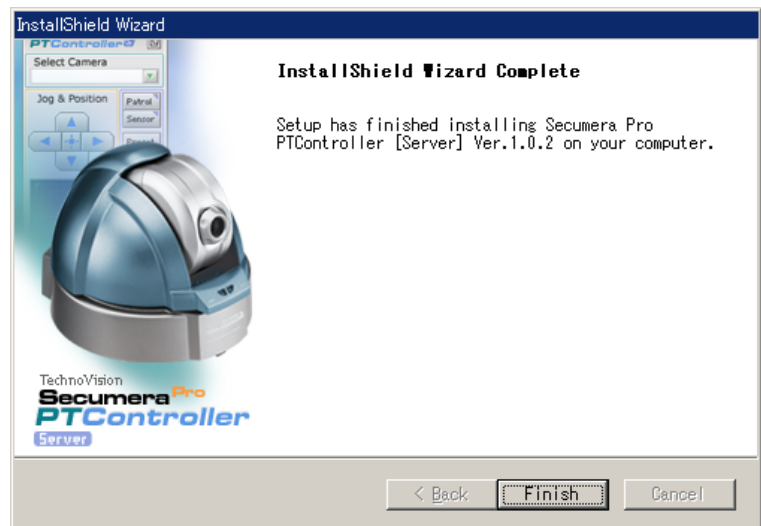
3 プログラムをインストールするフォルダを設定し、[Next] ボタンをクリックします。



4 インストールの状態が表示されま
 ず。
 途中で止める場合は[Cancel] ボ
 タンをクリックします。



5 [Finish] ボタンをクリックして
 インストールは終了です。



インストールが正常に終了しますと、[スタート]メニューの[プログラム]グループに TechnoVisionフォルダが作成されます。また、デスクトップ画面には、次のような ショートカットアイコンが作成されます。



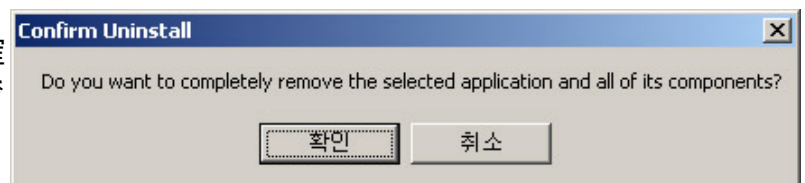
5-3. アンインストール(プログラムの削除) – PTController Server

1 ‘Secumera Pro PTController [Server] Setup.exe’ をダブルクリック、もしくは[スタート]メニューの[プログラム] / [TechnoVision]グループで ‘Uninstall Secumera Pro PTController [Server]’ をクリックすることによりプログラムを削除 (アンインストール) できます。

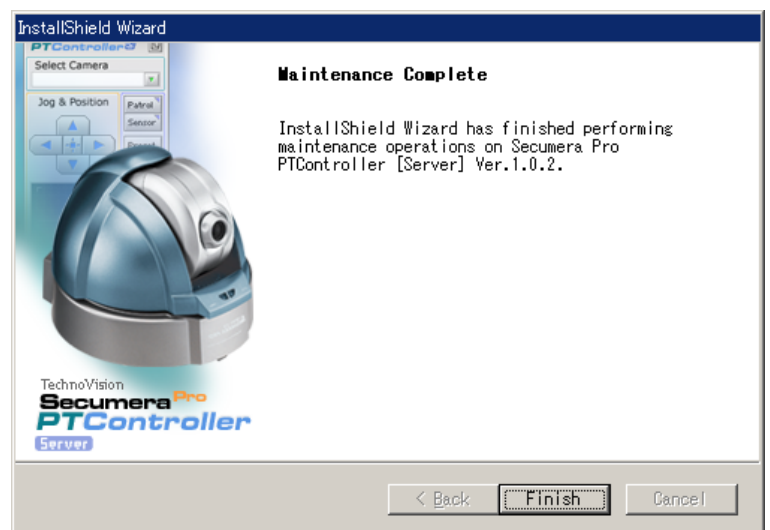
[Remove]を選択して[Next] ボタンをクリックします。



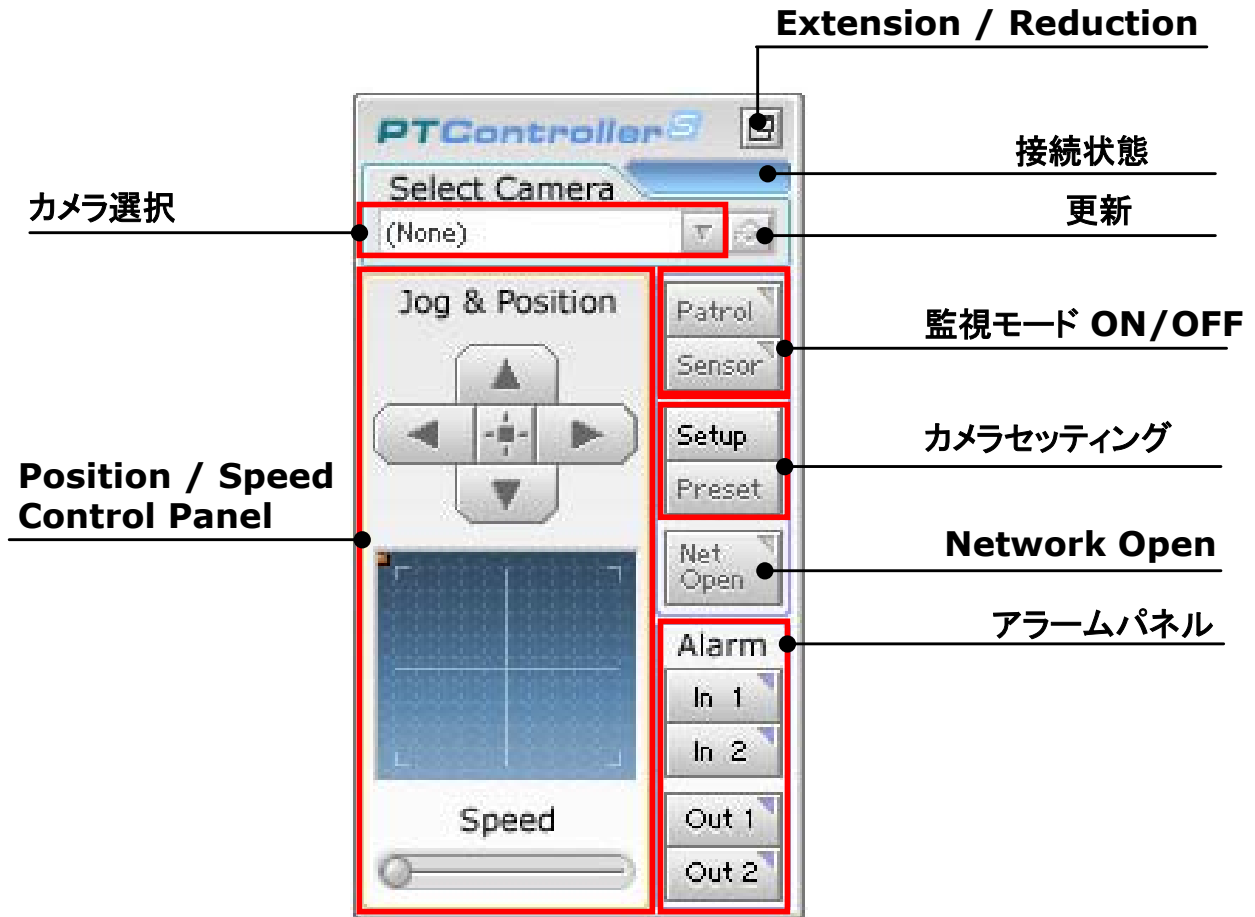
2 プログラムのアンインストール確認メッセージが表示されますので [確認] ボタンをクリックします。



3 [Finish] ボタンをクリックしてプログラムのアンインストールは終了です。



5-4. 構成



[ボタン説明]

Extension /Reduction	プログラムウィンドウを最小化・最大化
カメラ選択	コンピューターに複数のカメラが接続されている場合には、カメラを選択します。
Position/Speed Control Panel	Position – カメラを上下左右に移動できます。 Speed – スクロールボタンを調節してカメラの移動速度を調節できます。
接続状態	クライアントがサーバーに接続すると、下図のように表示されます。 
更新	カメラの位置、速度などの情報を更新します。
監視 モード ON/OFF	Patrol – ユーザーが指定したモニタ位置を巡回します。 Sensor – センサーに入力があった場合、指定したモニタ位置に自動的に移動します。
カメラセッティング	Setup – カメラの設定を行う ‘Setup’ ウィンドウが表示されます。 Preset – 任意の位置・速度を保存できる ‘Define’ ウィンドウを表示します。 10箇所まで設定できます。
Network Open	Network Open ボタンをONにすることにより、クライアントが接続できる状態になります。 OFF状態では、サーバーが実行中でもクライアントは接続できません。
Alarm Panel	カメラに接続されたAlarm I/O Module (2 Input/2 Output) 端子の信号状態を表示します。

5-5. 環境設定

[Setup] ボタンをクリックすることにより、設定ウィンドウが表示されます。

5-5-1. Server

Secumera Pro PTController Serverの接続情報を確認できます。

1) [Server IP]

現在プログラムが動作中のIPアドレスを表示します。複数のネットワークカードがインストールされている場合は、使用するアドレスを選択します。

2) [Server Port]

1個のIPアドレスを使用して、インターネットなどと共有してネットワークを構成する場合は、任意のポート番号を使用できます。ポートを別にして使用することにより、ウェブサービスとカメラ制御を1個のIPアドレスで実現出来ます。

3) [Default Server Port]

ポートフォワーディングを使用しない場合チェックします。

4) [User ID]、[User Password]

PTController Client プログラムがサーバーに接続するときの認証用IDとパスワードを設定します。ユーザーが任意に設定することが出来ます。

5) [Max no. of Users]

サーバーに同時に接続できるユーザー数を設定します。最大で10人まで設定することが出来ます。

6) [SMTP Server]

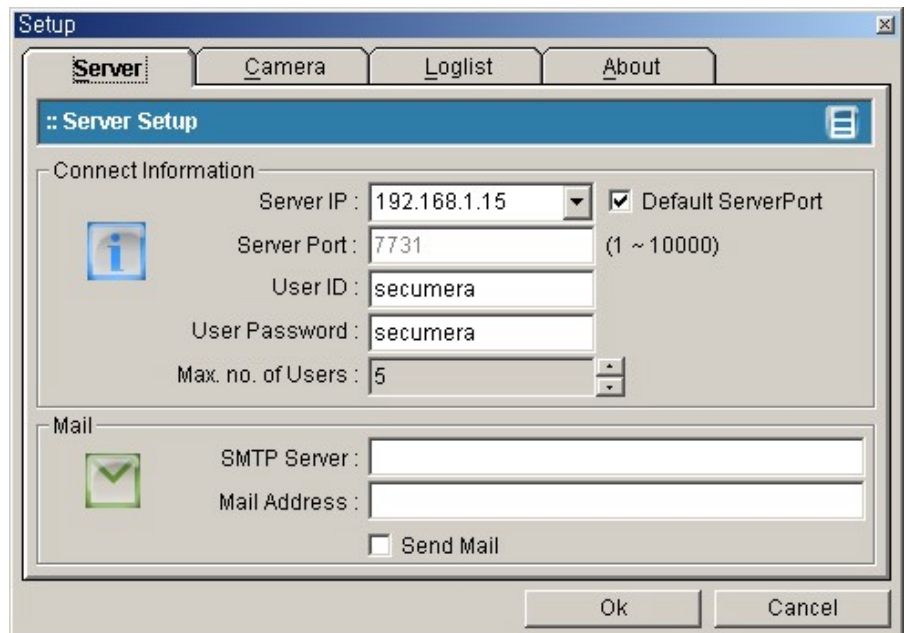
サーバー起動時やモーション検出時などにメールを送信する場合のメールサーバーを設定します。

7) [Mail Address]

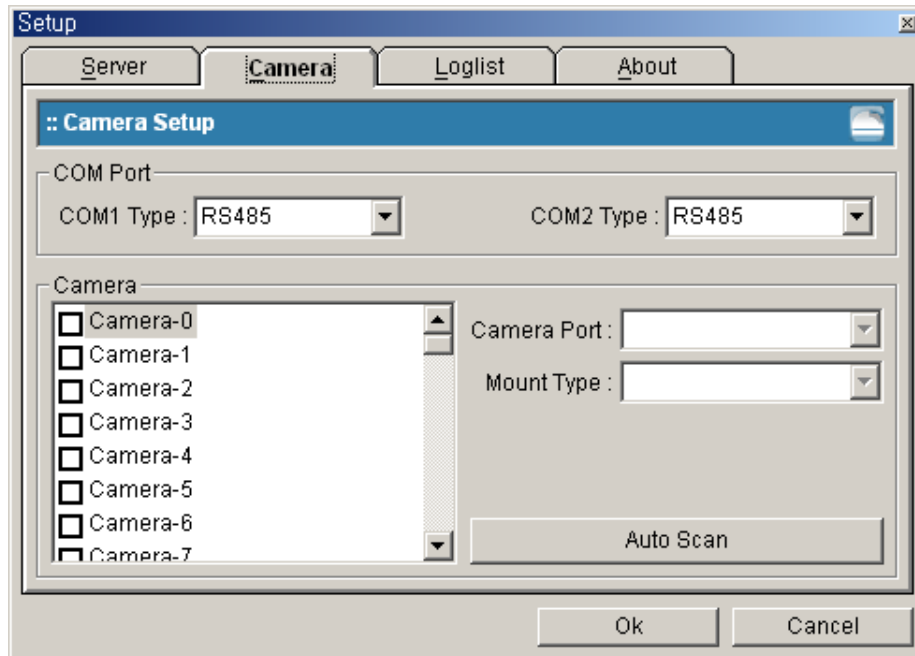
送信先のメールアドレスを設定します。

8) [Send Mail]

チェックしてある場合、サーバーがONになるたびにその旨をメールで送信します。



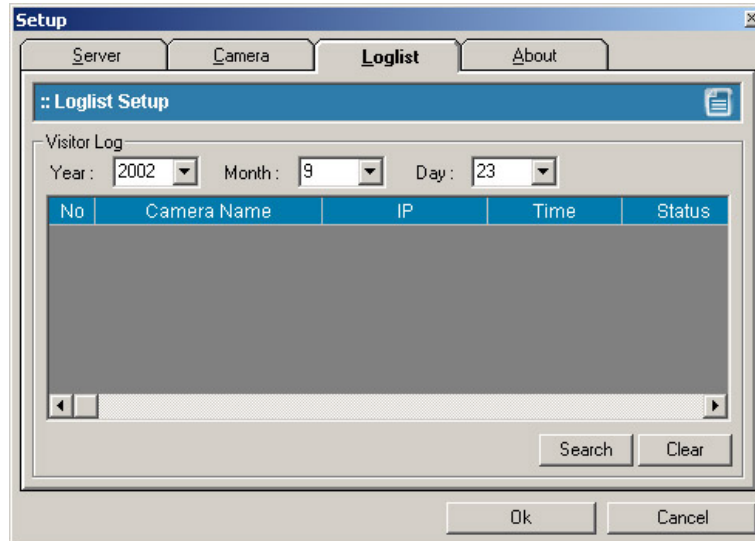
5-5-2. カメラ



- 1) コンピューターのシリアル(COM1、COM2)ポートのタイプをRS232とRS485から選択することができます。
- 2) RS485方式はコンピューターのシリアルポートにRS232/485コンバータ(Option)がインストールされている必要があります。
- 3) RS485方式では、最大64台のカメラを接続できます。

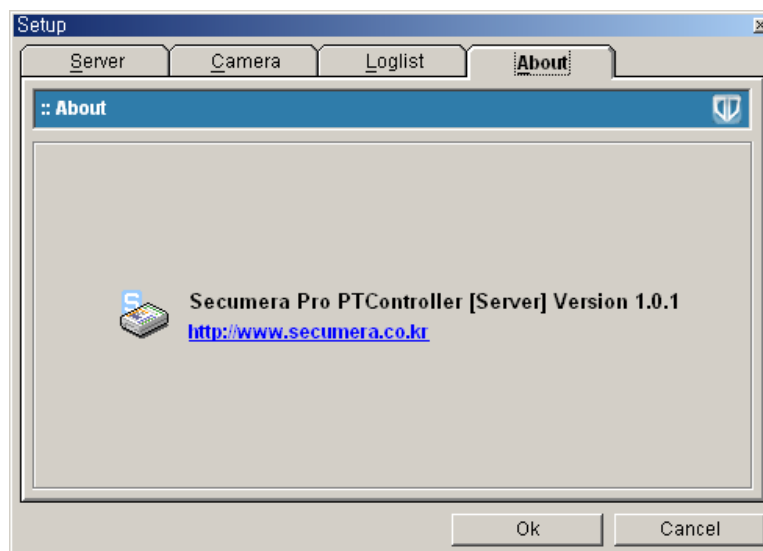
Camera Port	該当のカメラが接続されているポートを意味しています。COM1とCOM2の中で選択することができます。
Mount Type	カメラを設置する場所を設定します。天井に設置する場合は 'Wall/Ceiling'、机などに設置する場合は 'Desktop' です。
Auto Scan	ボタンをクリックすることにより、接続されているカメラを検索して表示します。カメラIDは0番から順に設定する必要があります。(カメラ側 DIP Switchにて)

5-5-3. Log List




日付を選択して[Search] ボタンをクリックすれば、その日にクライアントが接続した記録を見ることができます。

5-5-4. About



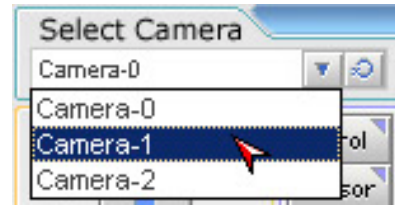
Secumera Pro PTController Serverのバージョン情報を表示します。

※ すべての設定が終われば[OK] ボタンをクリックして、メインウィンドウにある[更新]ボタン()をクリックします。これによりカメラの情報が更新されます。

5-6. カメラ選択(Select Camera)-複数のカメラから目的のカメラを選定する

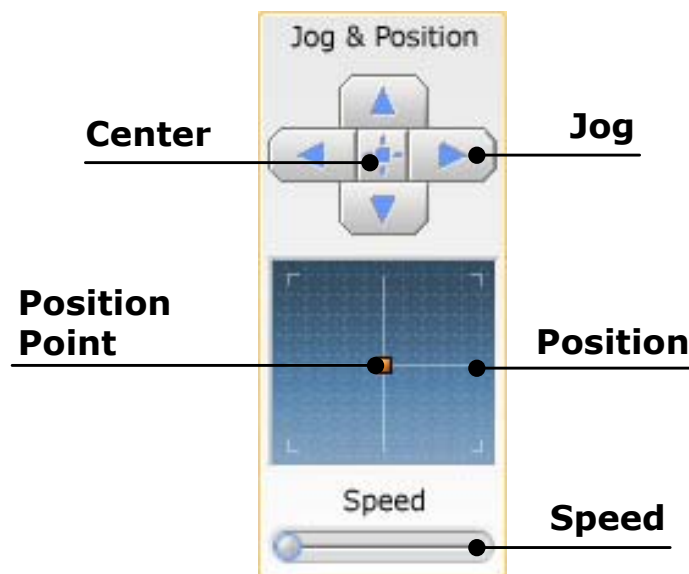
1つのコンピューターには最大64台のカメラを接続することができます。(RS-485方式)複数のカメラが接続されている場合でもPTController Serverプログラム1つですべてのカメラを制御できます。

[Select Camera]のListは[Setup]で設定→カメラです。



カメラを変更すると自動的にNetworkがOpenになり、クライアントがサーバーに接続できるようになります。(Net Openに関する詳細な説明はP.71の[5-10-4] Network Openを参照してください。)

5-7. ポジション/スピード用コントロールパネル



[Jog] 上下左右の矢印を押すたびに、その方向にカメラが動きます。

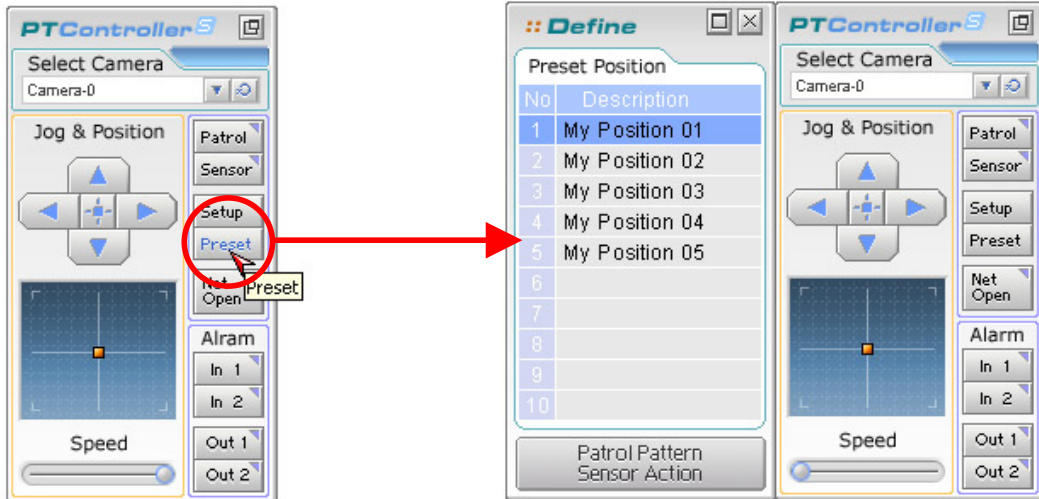
[Center] ボタンで、カメラを中心位置に戻すことができます。

[Position] ウィンド内を任意にクリックすることにより、該当する位置にカメラが移動します。[Position Point]も追隨して表示されます。

[Speed] スクロールを調節することによってカメラの動作速度を変更できます。10段階で調節できます。(Min-----Max)

5-8. プリセット - 任意の位置を定点として設定

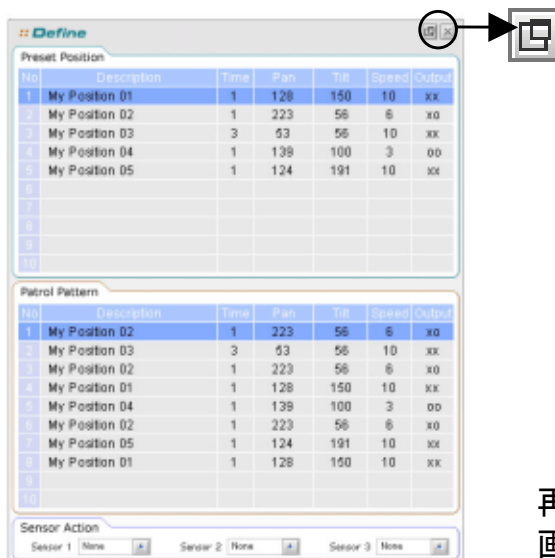
5-8-1. [Define]ウィンドウを開く



[Preset] ボタンをクリックすると、[Define]ウィンドウが表示されます。カメラに保存されている定点が表示されます。

5-8-2. Define ウィンドウの詳細(拡張ウィンドウ)

[Define]ウィンドウ右上のボタン(☐、Windows Extend)をクリックするか、[Define]ウィンドウ下端の[Patrol Pattern、Sensor Action] ボタンをクリックすることにより、下図のような画面に切り替わります。各定点に関する詳細な情報を確認することができます。



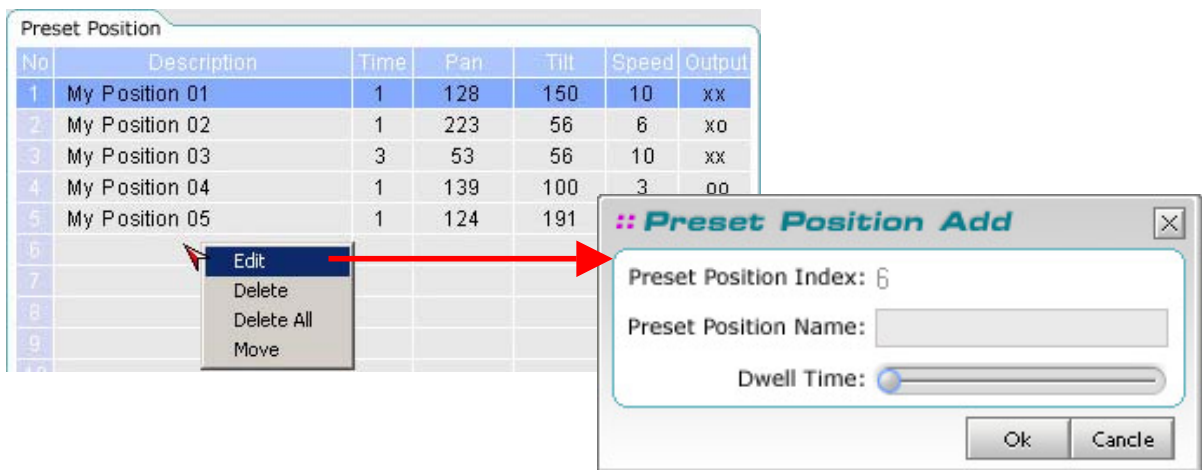
再度右上の ☐ ボタンを押せば、元の画面に戻ります。

〈拡張Defineウィンドウ〉

5-8-3. 定点の追加/削除/変更

Preset Positionは、たとえば金庫や窓、玄関などのユーザーが重要と考える場所をカメラに記憶させて移動させるときに使用します。

プリセット位置を追加する場合は、先にカメラを目的の場所に移動し、スピードなどを設定した後、設定する定点番号上で右ボタンをクリックし、[Preset Position Add]メニューを選択します。



[Edit]

メニューをクリックしてPreset Position NameとDwell Timeを入力します。

[Dwell Time]

Patrol Mode時にその向きを維持する時間を設定します。1秒から10秒までの間で設定できます。

定点を削除する場合は[Delete]、リストすべてを削除する場合は[Delete All]メニューをクリックします。

定点に保存された位置にカメラを移動させようとするときは、[Move]メニューをクリックするか、リストの該当番号をダブルクリックします。

<参考> Preset Position List Table

No	Description	Time	Pan	Tilt	Speed	Output
プリセット番号	Preset Position Name	Dwell Time (維持時間)	カメラ Pan / Tilt 位置	移動速度	Out端子の ON/OFF 可否 (oは ON、xは OFF)	

5-8-4. Sensor Action

Sensor Actionでは2個のInput 端子の信号に応じて、どのような動作を行うかを設定できます。

- 1) [Sensor1]はAlarm Input 1番端子、[Sensor2]はAlarm Input 2番端子、[Sensor 1+2]はInput 1番・2番端子同時に信号が入力された時の動作を設定します。
- 2) ‘None’ は信号入力に関係なく動作を行いません。
Preset番号を指定すれことにより、信号入力に応じてそのポジションに移動したり、Alarm Outを動作させたりできます。

<例:Sensor1の動作設定>

例) Alarm Input 1番端子には窓に設置されたセンサーが接続されているとします。誰かが窓を通じて侵入した場合には、Sensor ActionのSensor 1に設定したプリセット位置にカメラが移動し、指定されたAlarm Outが動作します。
(None設定の場合には何の動作も行いません)

※ Sensor Actionを指定してある場合でも、Main Windowの[Sensor] ボタンをONしなければ何の動作も行いません。

5-9. 巡回パターン

[Preset Position List]に定義されている位置を組み合わせることで継続的に巡回モニタリングを行うことができます。

[Preset Position List]で任意の定点を[Patrol Pattern List]にドラッグすることにより自動的に[Patrol Pattern List]に定点が追加されます。

<2番の定点が追加された状態>

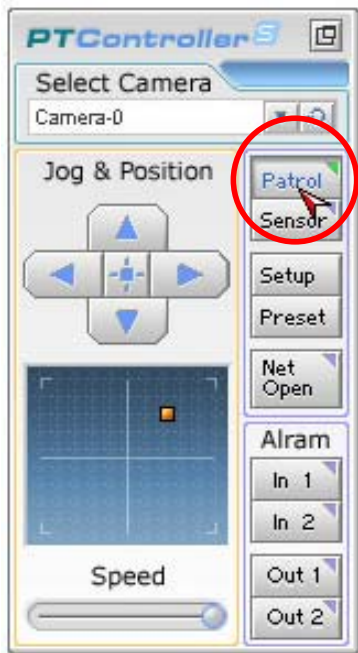
No	Description	Time	Pan	Tilt	Speed	Output
1	My Position 01	4	179	67	10	xx
2	My Position 02	2	254	254	9	oo
3	My Position 02	2	254	254	9	oo
4	My Position 03	2	123	200	10	oo
5	My Position 04	1	187	165	9	xo
6	My Position 05	1	100	100	10	xx
7	My Position 04	1	187	165	9	xo
8	My Position 01	4	179	67	10	xx
9	My Position 02	2	254	254	9	oo
10						

定点リストにて設定値を変更した場合も、自動的に巡回パターンに反映されます。削除する場合は、マウス右ボタンをクリックして[Delete]メニューを、リスト全体を削除する場合は[Delete All]メニューを選択します。

No	Description	Time	Pan	Tilt	Speed	Output
1	My Position 01	4	179	67	10	xx
2	My Position 02	2	254	254	9	oo
3	My Position 02	2	254	254	9	oo
4	My Position 03	2	123	200	10	oo
5	My Position 04	1	187	165	9	xo
6	My Position 05	1	100	100	10	xx
7	My Position 04	1	187	165	9	xo
8	My Position 01	4	179	67	10	xx
9	My Position 02	2	254	254	9	oo
10						

5-10. 監視モード ON/OFF

5-10-1. Patrol



[Patrol] ボタンをクリックすることにより、定点リストに定義されている内容に基づき巡回モニタリングを開始します。

再度[Patrol] ボタンを押すとパトロールは終了します。

5-10-2. Sensor

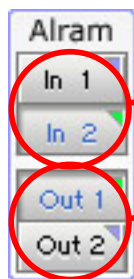


2個のAlarm Input 端子に接続されているセンサーに信号が入力された時に設定された動作のON/OFFを切り替えます。

[Sensor Action]で動作を指定してある場合でも、このボタンをONにしないとセンサーに応じた動作は行いません。

5-10-3. Alarm

Input	Alarm Input 端子に接続されているセンサー状態が表示されます。
	1番端子に信号入力があれば[In 1]が点灯します。 各Input 端子の信号入力に応じた動作を設定する場合は、前項の 'Preset' の 'Sensor Action' を参照してください。
Output	外部端子の状態を表示します。
	[Out 1]をクリックすると、Alarm Outの接点がONになります。もう一度クリックするとOFFになります。例えば、ライトを接続しておくことにより、あるプリセットポジションをモニタする場合にそのライトが点灯するように設定できます。



→ Alarm Input 2番端子に接続されたセンサーが作動したことを知らせています。

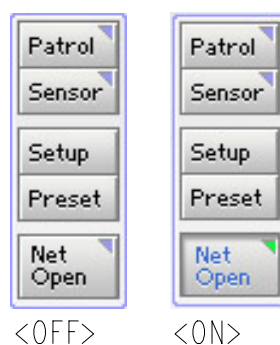
→ Alarm Out 1番端子がONになった状態。

5-10-4. Network Open

クライアントがサーバーに接続するためには[Net Open]がONになっている必要があります。

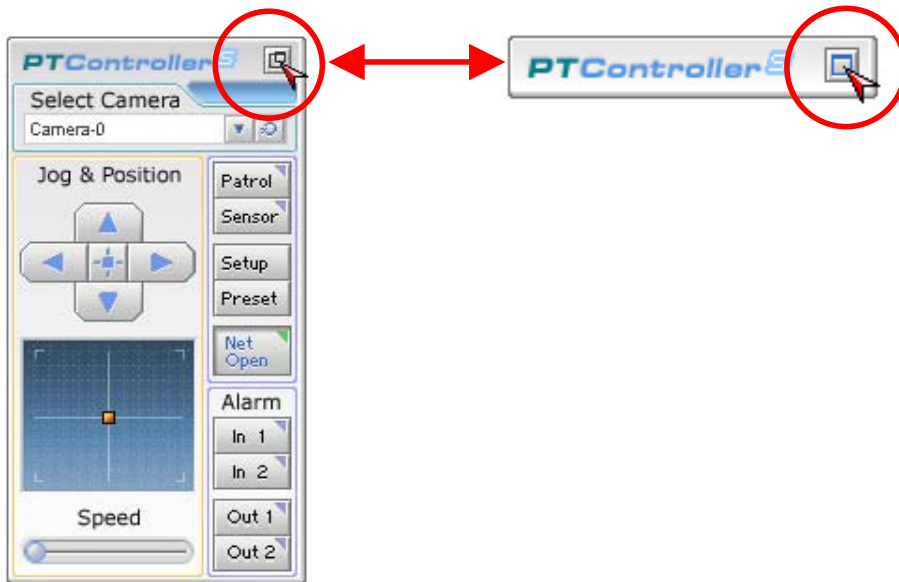
カメラが接続されている場合、Server プログラムを実行した時やカメラの変更により、自動的に[Net Open]がONになります。

[Net Open]がOFF状態では、サーバー プログラムが実行中でもクライアントはサーバーに接続（アクセス）出来ません。



5-11. 拡大/縮小/終了

プログラムを最小化するにはメインウィンドウ右上の[拡大/縮小] ボタンをクリックします。



PTController プログラムは、プログラムの性格上、他のアプリケーションよりも常に前面に表示されます。

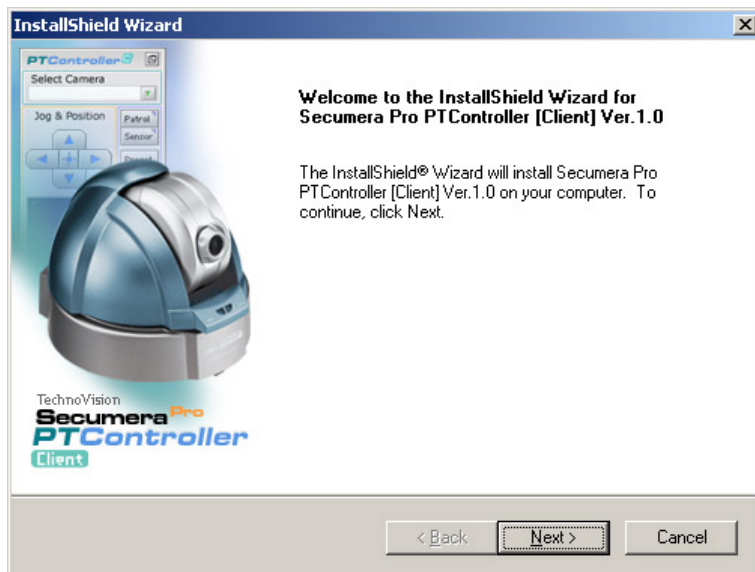
また、安易に終了できないようになっています。

終了する場合は、[Alt] + [F4]により、強制的に終了させることができます。

6. Secumera Pro PTController Client

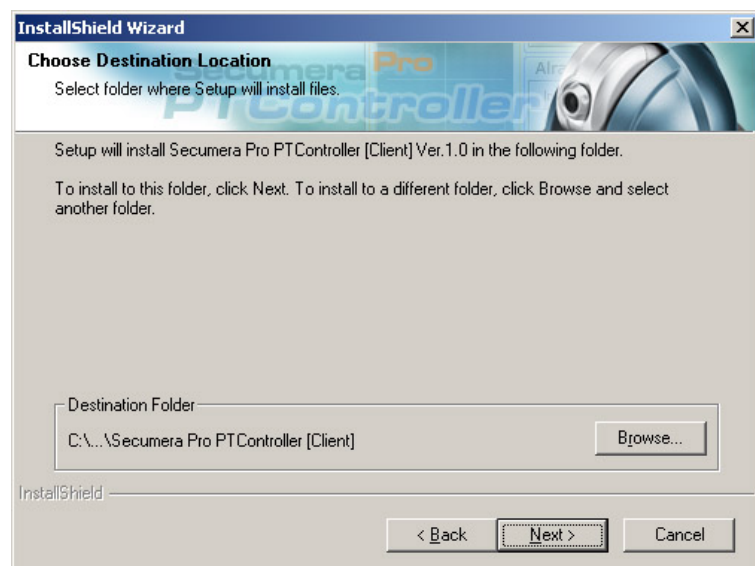
6-1. インストール- PTController Client

1 'Secumera Pro PTController [Client] Setup.exe'をダブルクリックすることによりインストールが始まります。

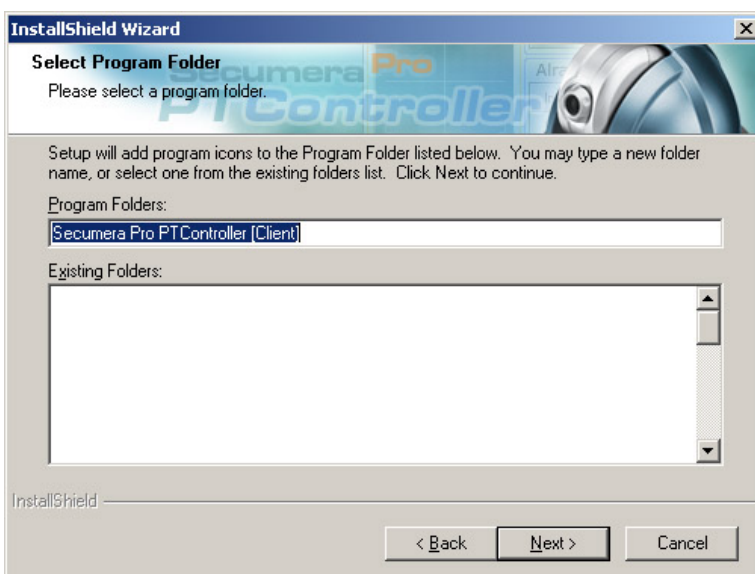


2 [Next] ボタンをクリックし、プログラムをインストールするフォルダが示された画面が表示されます。

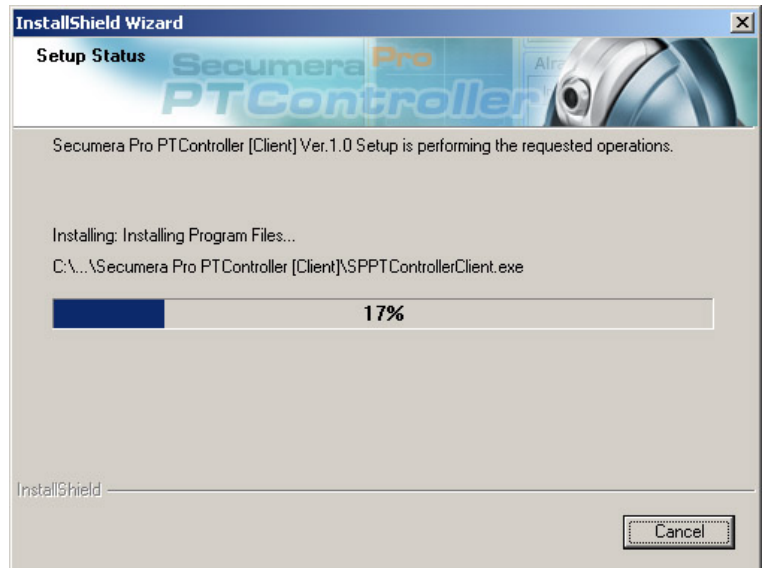
[Browse..] ボタンにより、任意にインストール先を変更できます。



3 プログラムのインストール先フォルダを設定し[Next]をクリックします。



4 インストールの状態が表示されま
 ず。
 途中で止める場合は[Cancel] ボ
 タンをクリックします。



5 [Finish] ボタンをクリックして
 インストールは終了です。



インストールが正常に終了しますと、[スタート]メニューの[プログラム]グループに TechnoVisionフォルダが作成されます。また、デスクトップ画面には、次のような ショートカットアイコンが作成されます。



Secumera Pro
 PTControll...

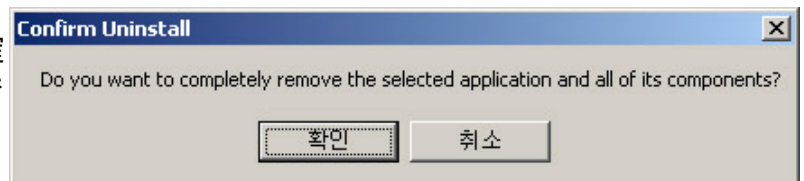
6-2. アンインストール(プログラムの削除) – PTController Client

1 ‘Secumera Pro PTController [Client] Setup.exe’ をダブルクリック、もしくは[スタート]メニューの[プログラム] / [TechnoVision]グループで ‘Uninstall Secumera Pro PTController [Client]’ をクリックすることによりプログラムを削除 (アンインストール) できます。

[Remove]を選択して[Next] ボタンをクリックします。



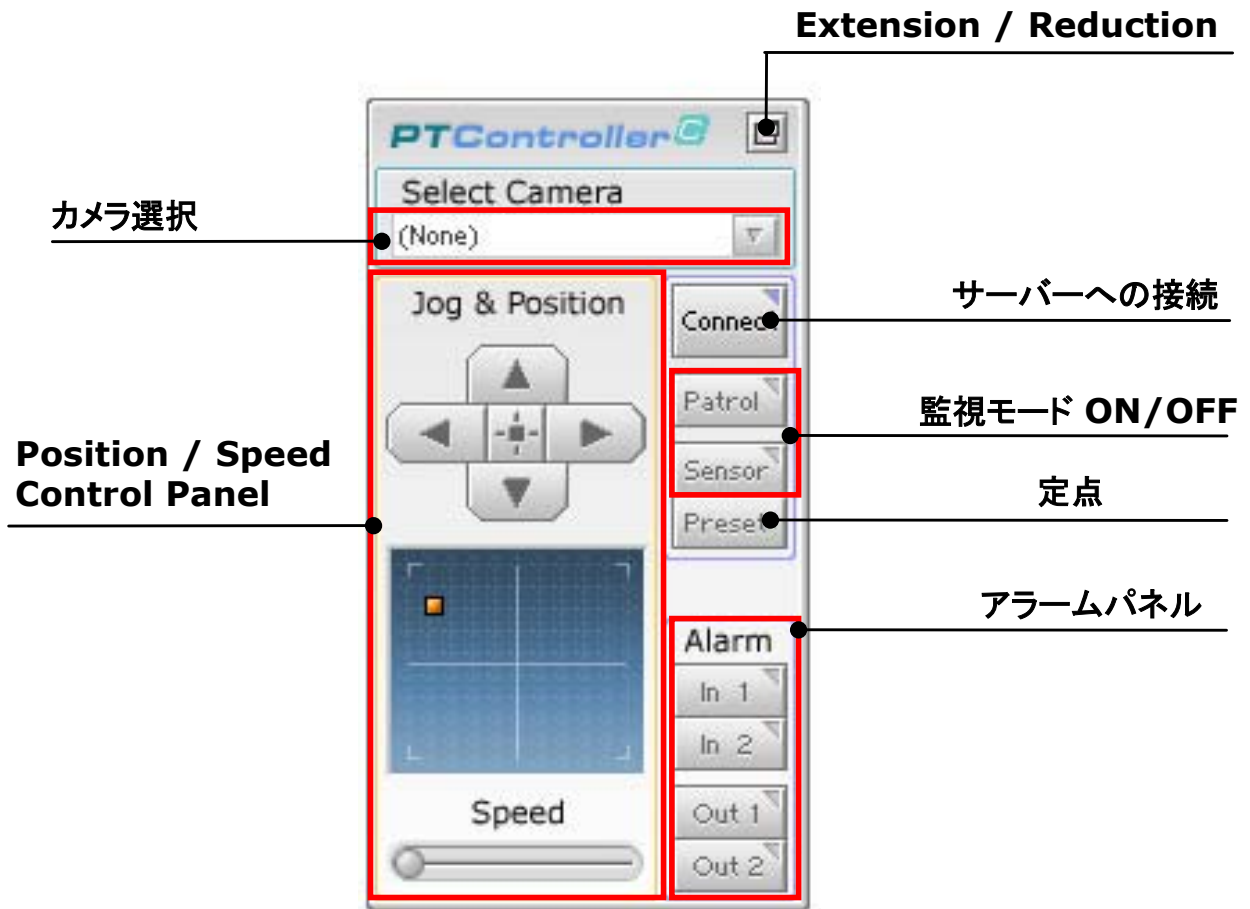
2 プログラムのアンインストール確認メッセージが表示されますので [確認] ボタンをクリックします。



3 [Finish] ボタンをクリックしてプログラムのアンインストールは終了です。



6-3. 構成

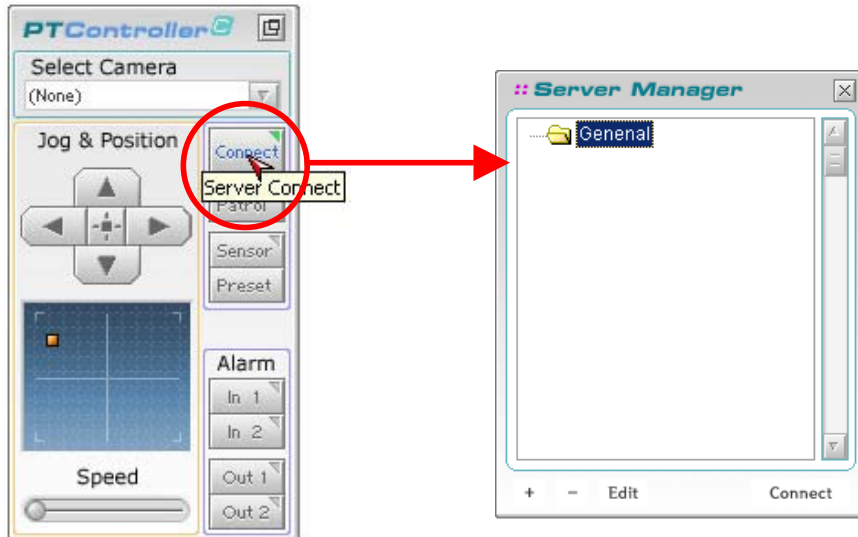


[ボタン説明]

Extension /Reduction	プログラムウィンドウの最小化・最大化
カメラ選択	サーバー プログラムが実行されているコンピューターに複数のカメラが接続されている場合には、カメラを選択することができます。
Position/Speed Control Panel	Position — カメラを上下左右で移動できます。 Speed — スクロールを調節してカメラの動作速度を変更することができます。
監視 モード ON/OFF	Patrol — ユーザーが設定した位置を巡回します。 Sensor — センサーに入力があった場合、指定した位置をモニタします。
Connect	PTController Server プログラムに接続します。
Preset Setting	任意のモニタ位置と速度をカメラに10箇所まで設定・保存することができる 'Define' ウィンドウを表示します。
アラームパネル	カメラに接続されているInput端子とOutput端子の状態を表示します。

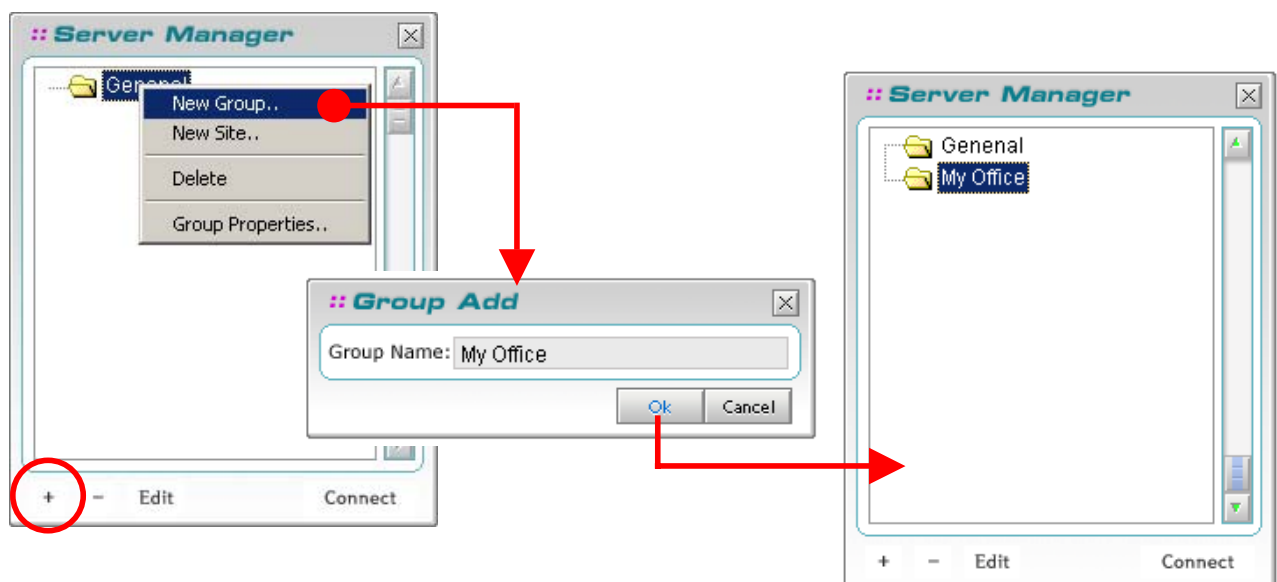
6-4. サーバーへの接続

遠隔地（クライアント側）からPTController Serverプログラムに接続（アクセス）してカメラを制御できます。



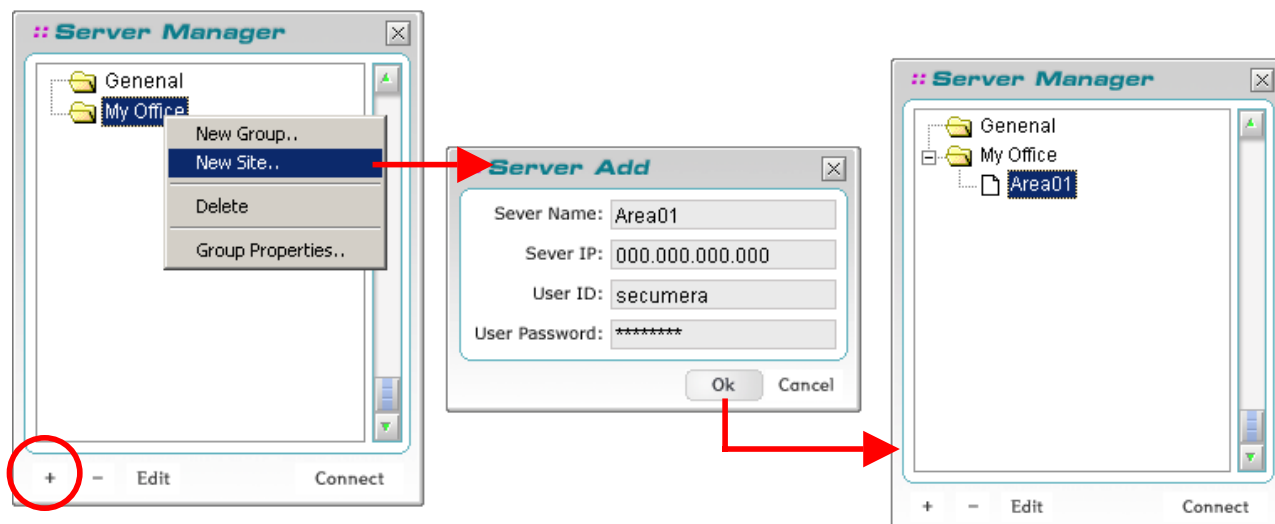
[Connect] ボタンをクリックし 'Server Manager' ウィンドウを開くと、以前に保存したサーバーグループとサイトが表示されます。保存されたサーバーがない場合には 'General' グループが生成されて表示されます。

新しいグループを追加する場合は、グループ(上の絵では 'General' グループ)を選択して[+] ボタンをクリックするか、マウス右ボタンをクリックして[New Group..]を選択します。



6. Secumera Pro PTController Client

新しいサイトを追加する場合は、該当のグループを選択しマウス右ボタンをクリックして[New Site..]メニューを選択します。

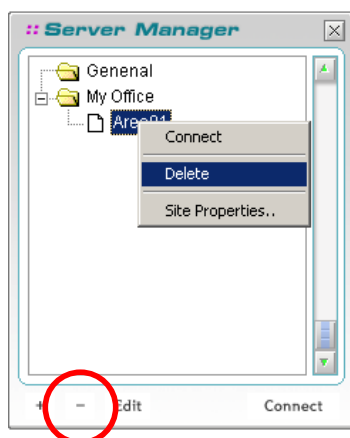


Server NameとServer IP Address、ID、Passwordを入力し、[OK] ボタンをクリックするとServer Managerに新しいサイトが追加されます。

追加されたサイトに接続するには、該当のサイト名を選択した後[Connect] ボタンをクリックするか、マウス右ボタンをクリックして[Connect]メニューを選択します。または該当のサイト名をダブルクリックすることによっても接続できます。

リストでグループを削除するときには、該当のグループの名を選択した後、[-] ボタンをクリックするか、マウス右ボタンをクリックして[Delete]メニューを選択します。

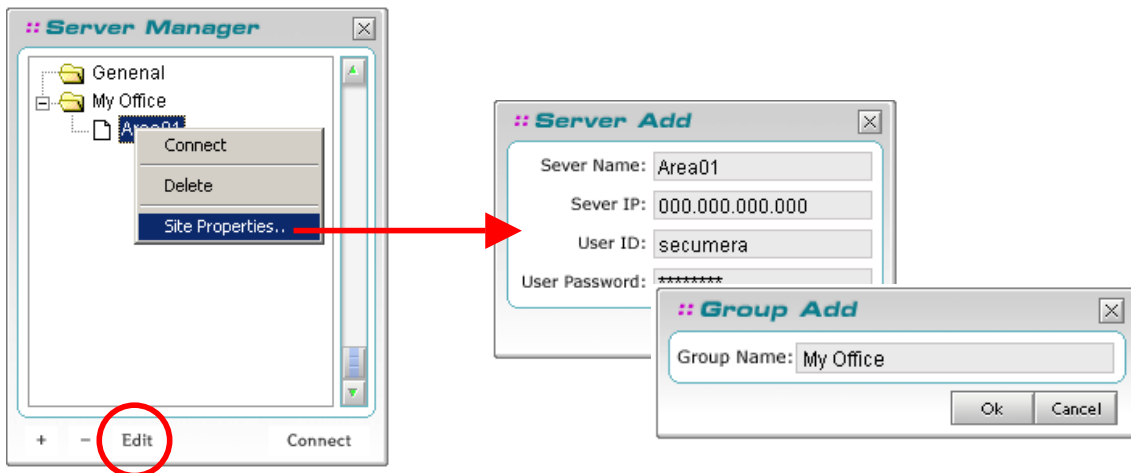
リストでサイトを削除するときには、該当のサイト名を選択した後、[-] ボタンをクリックするか、マウス右ボタンをクリックして[Delete]メニューを選択します。



※ グループ名前やサイト名前に同一な名前を使用できません。

サイトのIP Addressなどの情報を確認・変更するためには、該当のサイトを選択した後[Edit] ボタンをクリックするか、マウス右ボタンをクリックして[Server Properties..]メニューを選択します。

グループの名を変更する場合もグループを選択して[Edit] ボタンをクリックします



サーバー へのアクセスが成功した場合、コンピューターに接続されたカメラ情報を表示します。

クライアントのすべてのカメラ関連情報はPTController Server に連動します。
(クライアントで情報を変更すると、サーバー側の設定も変更されます)

形 式 承 認

FCC statement (USA)

The United States Federal Communications Commission (FCC part 15.105) has specified that the following notice be brought to the attention of users of this product :

This equipment has been tested and found to comply with the limit for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environmental. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Pursuant to Part 15.21 of the FCC Rules, any changes of modifications not expressly approved by the party responsible for Compliance could void the user's authority to operate the equipment.

ご使用に際して

この装置は、FCC規格に基づくFCC.part.15-ClassA機器です。
この装置を家庭環境で使用する場合、電波妨害を発生することがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求される場合があります。

製品保証書

製品名			
モデル名			
購入日時	年	月	日
保証期間	購入日から1年間		
お名前		電話	
ご住所			
購買先		電話	

本保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

1. 本証内容

取り扱い説明書、本体添付ラベル等の注意書に基づくお客様の正常なご使用状態のもとで保障期間内に万一故障した場合、無料にて故障箇所を弊社所定の方法で修理または、弊社の修理のため交換された本体、部品などはお返しいたしません。

2. 保証適応外

次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。

- 1) 本書の提示がない場合
- 2) 本書に記載内容の字句が書き換えられた場合
- 3) お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷
- 4) 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障及び損傷
- 5) 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、風水害、その他天災地変、あるいは以上電圧などの外部要因による故障及び損傷
- 6) 接続している他の機種に起因した本製品に故障及び損傷を生じた場合
- 7) 取扱説明書の記載の使用方法または注意に反する取り扱いによる故障及び損失
- 8) 車両、船舶等に搭載された場合に生じた故障及び損傷
- 9) 出張修理を行う場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- 10) その他弊社の判断に基づき有料と認められる場合

3. 弊社免責

本製品の故障又は利用により生じた直・間接的な損害については弊社はその責任を負わないものとします。

4. 保証有効期間

本保証書に記載されている購入年月日から1年間とします。

5. 保証有効範囲

本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in JAPAN.

【ビジネスパートナー/輸入販売元】

サンワサプライ株式会社

〒700-0825 岡山市田町1-10-1
TEL:086-223-3311 FAX:086-223-5123
<http://www.sanwa.co.jp/>

【開発・製造元】



USA: 15201 Springdale Street Huntington Beach,
CA 92649
TEL: 714-379-4550 FAX: 714-379-4557

KOREA: 8Floor, Daeyoo B/D, 736-2, Banpo-dong,
Seocho-Gu, Seoul, Korea
TEL: 82-2-539-9609 FAX: 82-2-542-4748

www.technovisioncctv.com